

外国語学部

スペイン・ラテンアメリカ学科

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42101	スペインの文化	必	秋学期	2	1	木下 登	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【講義内容】 第一にスペイン諸地方の地理・風土を説明する。ヨーロッパ有数の多様性に富む各地方の特色を把握・認識する。
 第二にローマ時代から、20世紀の内戦までの歴史を大極的に説明する。
 第三にカタルーニャ問題、バスク問題を含むスペイン現代事情を分析する。
 必要な史・資料は随時配布し、受講者の理解に役立てるようにする。

【評価方法】 テストとレポートと出席により評価。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42106 } 42112 ・ 42121 } 42127	スペイン語 I・II 会話 1・2 (FS) 1・2	必	春学期 秋学期	各1	1	REY Felisa PRIETO Paz	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 El objetivo de esta asignatura es iniciar a los estudiantes en la lengua hablada y capacitarles para desenvolverse con eficacia en situaciones básicas de comunicación.

【講義計画】 Las actividades que se llevarán a cabo en las clases giran en torno a temas como: Información personal, vivienda, alimentos, tiempo libre, etc. Habrá escenificación de diálogos, conversaciones en parejas y en grupos, y ejercicios escritos y de comprensión oral.

【評価方法】 Para la evaluación se tendrá en cuenta la asistencia a clase, la participación activa, las tareas y los exámenes orales y escritos.

【テキスト】 FÓRMULA 1: Libro del Estudiante y Cuaderno de Actividades. Editorial SANTILLANA

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42116	ラテンアメリカの文化	必	春学期	2	1	遅野井茂雄	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 民族と社会、文化と価値体系、歴史の概略など、ラテンアメリカ地域の基礎的な事象を学ぶ。ラテンアメリカ地域研究の入門講座である。

- 【講義計画】
1. ラテンアメリカ概観
 2. 多様性の中の統一
 3. 特異な民族形成
 4. 民族と社会
 5. 社会構造
 6. 文化価値体系 (I)
 7. 文化価値体系 (II)

- 8. 歴史の歩み (I)
- 9. 歴史の歩み (II)
- 10. 歴史の歩み (III)
- 11. 近代化と文化社会の変容
- 12. まとめ：世界におけるラテンアメリカ

【評価方法】 定期試験

【テキスト】 国本伊代／中川文雄 編『ラテンアメリカ研究への招待』新評論 1997年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
42201 42202 42206 42207	スペイン語Ⅲ会話 1・2 (FS) 1・2	必	春学期	各1	2	REY Felisa FERNÁNDEZ María A.
他の科目との関連						履修対象学科：不可

【講義内容】 Este curso complementa a los dos primeros cursos de Conversación, y el objetivo es capacitar aún más al alumno para desenvolverse eficazmente en situaciones de supervivencia en el contacto con hispanohablantes.

【講義計画】 Se continuará con la exploración de temas de la vida diaria. En concreto los siguientes:
 1. Información Personal: Presentaciones, saludos. Hablar de lenguas. Biografía. Curriculum Vitae. Condiciones laborales. Familia.
 2. Entorno doméstico: Tareas domésticas. El clima. Descripción y localización geográfica. Objetos de playa.
 Se intensificarán las actividades de expresión y comprensión oral a nivel de discurso, mediante el trabajo en grupos y en parejas.

【評価方法】 Se tendrá en cuenta la asistencia a clase, la participación activa en la misma, las tareas y los exámenes orales y escritos

【テキスト】 FÓRMULA 2: Libro del Estudiante y Cuaderno de Actividades. Editorial SANTILLANA

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
42211 42212 42236 42237	スペイン語 I・II 作文 (FS) 1・2	必	春学期 秋学期	各1	2	MONTERO Ascensión
他の科目との関連						他学科履修：不可

【副題】 TALLER DE ESCRITURA CREATIVA-2°

【講義内容】 En estos dos curso se seguirá desarrollando la expresión escrita, tratando de integrarla con las destrezas practicadas en otras asignaturas, especialmente en la clase de Conversación.
 Se procurará motivar a los alumnos proponiéndoles tareas que requieran el uso de la escritura y estimulen la creatividad.

【講義計画】 Las actividades girarán en torno a la siguiente temática:
 1. *Preparación para la vida profesional*: Curriculum vitae. Descripción y comparación de distintos trabajos. Anuncios y solicitudes.
 2. *Recordar el pasado*: Escribir diario. Narraciones de películas. Describir los recuerdos de la infancia Inventar cuento o relato corto.
 3. *Planear el futuro*: Buscar información sobre el propio país y sobre otros países. Redactar un plan de viaje lo más detallado posible.
 4. *Redacción de cartas* sobre diversos temas en estilo formal e informal

【評価方法】 Se tendrá en cuenta: la asistencia a clase, la participación activa en ella, la realización de las tareas y el resultado de los exámenes.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42216 42241	スペイン語 I・II 講読 (FS) 1	必	春学期 秋学期	各1	2	佐竹 謙一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 中級程度の読みものから入り、それが終り次第、現代スペインまたはラテンアメリカ文学の中から一作を選び、読んでいく。(テキストについては授業中に指示する。)

【評価方法】 授業参加および定期試験。

【テキスト】 プリント

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42217 42242	スペイン語 I・II 講読 (FS) 2	必	春学期 秋学期	各1	2	伊藤 ゆかり	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 講読を通して、一年生時に修得した基礎文法の知識をさらに深め、少々の長文も読みこなせる読解力をつけることを目標とする。また、テキストのテーマを通して、スペイン語圏の文化、習慣なども学んでいく。

【講義計画】 読解力を養うために、講読を進めるのと同時に、テキスト中の重要表現をとりあげて応用作文も練習する。受講者は十分予習して授業に臨むこと。

【評価方法】 授業中の発表、定試験などを、総合的に評価する。

【テキスト】 *Veneno a mi marido* (Alfonso Paso著)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42221 42246	スペイン語 I・II 文法 (FS) 1	必	春学期 秋学期	各1	2	高橋 覚二	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 スペイン語の基礎的な文法的知識を確固としたものにする、新しい視点から文法を眺めて言葉に対する視野を広げることを目的とする。

【講義計画】 春学期、秋学期を通じて、形態論から統語論まで、一通り基礎的な文法事項は網羅する。授業は、テキストに基づいて宿題として課した練習問題の答え合わせを中心として進む。正解は教員が提示する。受講生は自分の答と見比べて、疑問に思う点を質問する。この質問に基づいて、文法事項の説明を行ない、より深く幅広い知識を授ける。

【評価方法】 宿題の内容と提出、授業態度、試験を総合的に判断。

【テキスト】 プリントまたは簡易製本で配布

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
42222 42247	スペイン語Ⅰ・Ⅱ文法 (FS) 2	必	春学期 秋学期	各1	2	高橋 覚二
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【講義内容】 スペイン語の基礎的な文法的知識を確固としたものにする、新しい視点から文法を眺めて言葉に対する視野を広げることを目的とする。

【講義計画】 春学期、秋学期を通じて、形態論から統語論まで、一通り基礎的な文法事項は網羅する。授業は、テキストに基づいて宿題として課した練習問題の答え合せを中心として進む。正解は教員が提示する。受講生は自分の答と照らし合せ、疑問に思ったことを質問する。この質問から話を発展させて、文法の説明を行なう。

【評価方法】 宿題の内容と提出、授業態度、試験を総合的に判断。

【テキスト】 プリントまたは簡易製本で配布

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
42226 42227 42231 42232	スペイン語Ⅳ会話 1・2 (FS) 1・2	必	秋学期	1	2	REY Felisa CÁRDENAS Abel
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【講義内容】 Este curso complementa a los anteriores cursos de Conversación, y el objetivo es capacitar aún más al alumno para desenvolverse eficazmente en situaciones de supervivencia en el contacto con hispanohablantes.

【講義計画】 Se continuará con la exploración de temas de la vida diaria. En concreto los siguientes :

1. *Lugares públicos* : Solicitar información. Moneda, transportes, horarios, automóvil. Comprar. Ropa y calzado. Solicitar servicios. Hotel, taller, banco, teléfonos, correos. Reclamar ante un servicio deficiente. Restaurante, hotel.
2. *Tiempo libre* : Cine y teatro. Sugerir actividades de tiempo libre. Arte : pintura, escultura, arquitectura. Vida sana.
3. *Relaciones* : Interesarse por alguien. Expresión de cambios físicos. Expresar amistad o aversión hacia otros. Pedir, ofrecer ayuda. Expresar intenciones.

Se intensificarán las actividades de expresión y comprensión oral a nivel de discurso, mediante el trabajo en grupos y en parejas.

【評価方法】 Se tendrá en cuenta la asistencia a clase y la participación activa en la misma, las tareas y los exámenes orales y escritos

【テキスト】 FÓRMULA 2 : Libro del Estudiante y Cuaderno de Actividades. Editorial SANTILLANA

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
42301	演習 I	必	通年	4	3	木 下 登	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 スペインは、セネカ以来今日に至るまで、思想においても多様性ととも豊かな内容を誇る国である。こうした思想的背景を展望した後で、後半では現代スペインを代表する思想家オルテガ・イ・ガセットに研究的をしぼっていく。

【評価方法】 口頭発表およびレポート提出。

【テキスト】 J.L. Abellán, *Historia del pensamiento español, de Séneca a nuestros días*, Espasa, 1996.
その他随時プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
42302	演習 I	必	通年	4	3	高 橋 覚 二	
他の科目との関連	スペイン語学特殊研究、スペイン語科教育法Aを履修することが望ましい					他学科履修	不可

【講義内容】 スペイン語文法の全体像を概観する。語学をどのような観点から研究しても、土台が固まらなければ、応用には繋げていくことが難しい。三年次の演習では、スペイン語文法の知識を深め、問題意識を持つこと、さらに自分の立場を築き、自分の意見を持てる素地を作ることを目的とする。

【講義計画】 現代スペイン語文法の基礎固めをするため、まずは品詞を形態的、意味的、機能的観点から批判的に眺める。具体的な内容としては、名詞、代名詞、冠詞、形容詞、動詞、法と時制、非人称形、副詞、連結詞、単文、文の要素、複文、関係文、意味、などを学ぶ。

【評価方法】 授業中の態度、発表、レポートを総合的に判断する。

【テキスト】 Antonio Quilis, Manuel Esgueva 他、
Lengua española, Centro de Estudios Ramón Areces (Madrid)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
42303	演習 I	必	通年	4	3	佐 竹 謙 一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 授業の基礎として、M. Defourneaux, *La vida cotidiana en España del Siglo de Oro* を使用し、スペイン黄金世紀の人々の暮らしを概観する。
またこれと平行して、セルバンテスの『ドン・キホーテ』を読み、この作品について何回か説明を行う。議論なども含め、セルバンテスの創作意図を探ること、当時の人々の考え方や生活風習を読みとることが目的である。

【講義計画】 最初の一、二回で演習のすすめ方、文献に関する説明、学期の終わりに提出してもらおうレポートなどについて説明する。また必要に応じてプリントも配付し、それについても言及する。

【評価方法】 学年末のタームペーパーおよび授業への参加を重視する。

【テキスト】 プリントまたはテキストを購入してもらう。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42304	演習 I	必	通年	4	3	遅野井 茂雄	
他の科目との関連	「ラテンアメリカの政治」 「第3世界論」を併せて履修することが望ましい					他学科履修	不可

【副題】 「グローバル化とラテンアメリカ」

【講義内容】 ラテンアメリカ地域に関する専門演習。方法論を学びつつ文化、社会、開発、民主化、民族、ODAなどをテーマに、議論を重ね、国際社会とラテンアメリカについての認識を深める。

【講義計画】 基本文献を読破。各自レジュメを用意して報告し、討論する。
前期はテーマ別のレポート（4000字）、後期は国別のレポート（4000字）を提出し、夏と冬の合宿において報告会を行う。

【評価方法】 平常点；報告と議論への参加度。レポート。

【テキスト】 主にプリント。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42305	演習 I	必	通年	4	3	富野 幹雄	
他の科目との関連	現代ラテンアメリカ経済（ブラジル）、ラテンアメリカ経済史（ブラジル）					他学科履修	不可

【副題】 ブラジル社会経済史

【講義内容】 現代ブラジルの抱える最大の問題と言える所得分配の不平等、人種関係の根底に存在する人種差別の実態などを取り扱う予定。授業では、これらの問題に関する文献を読み、基本的知識を吸収した後、各自に課題報告をしてもらう。

【講義計画】 春学期の問題に関連する英文の論文のコピーを読みながら、基本的な知識の吸収に努める。

【評価方法】 レポート提出と課題発表。

【テキスト】 特に指定しない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42306	演習 I	必	通年	4	3	安原 毅	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 ラテンアメリカの社会開発と貧困対策

【講義内容】 戦後の世界史、ラテンアメリカ史をサーベイした後、特にラテンアメリカ各国の労働問題、農村開発、貧困といった問題について学ぶ。

【講義計画】 テキストを輪読してレジュメを作成し、発表してもらう。ゼミでの発表に先立ってEメールで各自の報告、意見を交換し合い、それを元に討論をすすめたい。秋学期には英語、スペイン語のテキストも使う。

【評価方法】 ゼミでの報告による。

【テキスト】 適宜指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
42501 42502 42516 42517	スペイン語Ⅲ・Ⅳ 作文 (FS)1・2	選	春学期 秋学期	各1	3	REY Felisa
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 El objetivo fundamental de este curso es proporcionar a los/las estudiantes la teoría y la práctica requeridas para satisfacer las necesidades básicas de comunicación a través del language escrito.

【講義計画】 Se hará primero la presentación de modelos de redacción que ilustren una función lingüística determinada. Las cartas, notas, apuntes, noticias de prensa y breves párrafos descriptivos, de opinión, etc. presentados, servirán de guía para redactar textos similares.

【評価方法】 En la evaluación se tendrá en cuenta la asistencia a clase, la realización de las tareas y el resultado de los exámenes.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
42506 42507 42521 42522	スペイン語Ⅴ・Ⅵ 会話 (FS)1・2	選	春学期 秋学期	各1	3	PRIETO Paz MONTERO Ascensión
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 El objetivo es llevar a la práctica los conocimientos lingüísticos adquiridos en los niveles anteriores y desarrollar en los/las estudiantes la capacidad de expresarse con fluidez en español.

【講義計画】 Habrá actividades por parejas y en pequeños grupos para reforzar la expresión oral. Otras estarán encaminadas a facilitar la comprensión auditiva.

【評価方法】 Para la evaluación se tendrá en cuenta: la participación activa en las distintas actividades programadas, los resultados de los exámenes y la asistencia a clase.

【テキスト】 Materiales Fotocopiados

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
42511 42526	スペイン語Ⅲ・Ⅳ 講読 (FS)1	選	春学期 秋学期	各1	3	野田 隆
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 現代ラテンアメリカ研究講読

【講義内容】 現代ラテンアメリカに関する平易なスペイン語文を訳読暗記し、長い文章も理解出来るよう練習する。長文でも容易に読めるよう、英語の単語に近い語が多出する歴史経済政治分野の文章を主として選ぶ予定。小テストを2～3週ごとに行う。

【評価方法】 出席状況・平常点・小テスト・期末テスト等による総合評価。

【テキスト】 プリント配付。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42512 42527	スペイン語Ⅲ・Ⅳ 講読 (FS)2	選	春学期 秋学期	各1	3	佐竹 謙一	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 現代スペイン演劇またはラテンアメリカ演劇から一作選んで読んでいきたい。また副読本として他の作品も読んでもらう。

【評価方法】 授業参加および定期試験

【テキスト】 プリント

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42601	スペイン史	選	秋学期	2	3～4	奥野 良知	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 スペイン黄金時代を主に取り上げたい。すなわち、カトリック両王時代からフェリーペ四世の時代まで200年弱である。この時代はスペインが相対的に孤立した中世とは逆に、ヨーロッパの表舞台に登場し、ヨーロッパ政治を指導した時代である。日本ではともすれば、この時代にヨーロッパ政治はイギリスやフランスを中心に語られがちであるが、本講義ではスペインを主役に講義したい。外交分野と同様に興味深く、かつ重要な社会・経済構造についても言及したい。黄金世紀のスペイン人の精神構造におけるもっとも重要な二つの要因たる、イダルゴ精神と純血意識を説明し、当時のスペイン人像に迫り、そこから作り出される黄金世紀の社会を描き出したい。また過剰なまでの対外政策を交えた経済構造を分析し、スペイン衰退の要因を明らかにしたい。具体的には、毛織物工業と農業に問題点を分析し、スペイン経済構造の脆弱さを指摘したい。

【講義計画】 単なるスペイン一國史の概説ではなく、イベリア半島諸地域の歴史的文化的多様性に留意しながら、ヨーロッパ史、世界史のなかでのスペイン史を考察していく。

半期という大変限られた時間内ではあるが、以下の項目に沿って講義を進めていく計画である。
 スペインの地理、ローマ時代を中心とした古代史、西ゴート時代、イスラーム・スペイン、カスティールヤ王国、カタルーニャ・アラゴン連合王国、カトリック両王の時代、スペイン帝国の隆盛、18世紀スペイン、自由主義国家体制とその限界、王制復古体制、第2共和制、スペイン内戦、フランコ体制、民主化。
 受講者は、社会科学全般に対する問題関心と想像力が旺盛であることが望まれる。

【評価方法】 平常点と期末試験の得点を総合して評価する。

【テキスト】 立石博高編『スペイン・ポルトガルの歴史』山川出版社、2000年。

【その他】 参考書

- ①立石他編『スペインの歴史』昭和堂、1998年。
- ②ヴィラルール（藤田訳）『スペイン史』白水社（文庫ワセジュ）、1992年。
- ③ヴィラルール（立石・中塚訳）『スペイン内戦』白水社（文庫ワセジュ）、1993年。
- ④原誠他編『スペイン・ハンドブック』三省堂、1982年。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42611 42616	ラテンアメリカ史 A・B	選	春学期 秋学期	各2	3・4	野田 隆	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 メキシコ国家形成の歴史的背景

【講義内容】 メキシコを中心に、自然と住民、先住民文明の発展、スペイン人による征服と植民地支配体制の確立、植民地時代の経済、独立、自由主義と近代化政策、そして最近の新自由主義政策などをテーマに、時代をおいながら講義する。

【講義計画】 テキストの他、プリント、ビデオを使いながら講義し、受講者による発表も行なう。また、各時代・テーマごとに、小テストを行なう。

【評価方法】 出席・小テスト・発表・筆記試験による総合判定

【テキスト】 プリントと増田義郎『物語ラテンアメリカの歴史』（中公新書、1998年、800円）

【その他】 ビデオの使える教室

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42621 42626	スペイン文学A・B	選	春学期 秋学期	各2	3・4	佐竹 謙一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 テキストに Juan María, Marín, La revolución teatral del Barroco を使用しながら、スペイン十七世紀の演劇を展望する。当時の演劇の様子、芝居の盛況、演劇理論等について学んだあと、後半はバロック演劇の巨匠カルデロン の代表作の一つである、宗教劇 El mágico prodigioso を読む予定である。原文はバロック特有の文体で書かれており難解な部分も多少あるが、翻訳を参考にしながら一緒にこの名作を鑑賞したいと考えている。

【評価方法】 授業出席・参加およびレポート（A4、5枚前後）。

【テキスト】 『スペイン黄金世紀の大衆演劇——ロベ・デ・ベーガ、ティルソ・デ・モリーナ、カルデロン』（三省堂、2001年）。
カルデロン・デ・ラ・バルカ『驚異の魔術師ほか一篇』（平凡社ライブラリー、1997年）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42631	ラテンアメリカ文学A	選	春学期	2	3・4	宮下 克子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 19世紀末から20世紀初頭にかけてのイスマノアメリカの文学を詩、小説、エッセイなどのジャンル別に検討し、その特徴を明らかにする。

【講義計画】

1. ラテンアメリカ文学の流れ
2. モデルニスモ…ルベン・グリオの詩
3. インディヘニスモ小説…ホセ・マリア・アルゲダス『深い河』
4. メキシコ革命小説…マリアノ・アスエラ『下層階級』
5. 自然主義小説…リカルド・グイラルデス『ドン・セグンド・ソンプラ』

- 【評価方法】 1. 出席状況
2. レポート
3. 学習に向かう姿勢

【テキスト】 ラテンアメリカ文学史の小冊子
プリント
(どちらも教員が用意する)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42636	ラテンアメリカ文学B	選	秋学期	2	3・4	宮下 克子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 19世紀末から20世紀初頭にかけてのイスマノアメリカの文学を詩、小説、エッセイなどのジャンル別に検討し、その特徴を明らかにする。

- 【講義計画】 1. エルネスト・サバト…『トンネル』
2. ガルシア・マルケス…『百年の孤独』
3. プリオ・コルタサル…『石蹴り遊び』、その他の短編
4. バルガス・リョッサ…『ラ・カテドラルでの対話』

- 【評価方法】 1. 出席状況
2. レポート
3. 学習に向かう姿勢

【テキスト】 ラテンアメリカ文学史の小冊子
プリント
(どちらも教員が用意する)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42641	スペイン思想史	選	春学期	2	3・4	木下 登	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 スペインは、A・セネカ以来今日に至るまで、思想面においても多様性と共に豊かな内容を誇る国である。その思想史の系譜をローマ帝国治世下時代から、中世、近代に至るまでたどることにより、スペイン思想への接近を図る。

- 【講義計画】 1. スペイン思想研究入門
2. セネカ
3. 聖イシドローと『語源録』
4. ドミニクス・グンディサリヌスと訳業
5. ラス・カサスとビトリア
6. ルイス・ビーベス
7. 聖女テレジアと十字架のヨハネ
8. ザビエル

【評価方法】 レポートと出席を合わせて評価する。

【テキスト】 「スペイン思想史」(授業時に配布)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42651	ラテンアメリカの政治	選	春学期	2	3・4	遅野井 茂雄	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 ラテンアメリカ政治の構造と伝統、変動を整理し、ラテンアメリカの政治世界を把握する。理論的動向を紹介しつつ、ラテンアメリカ政治を見る目を養い、各国別の比較を行う。

- 【講義計画】
1. 現代ラテンアメリカに息づく政治文化
 2. ラテンアメリカの政治世界（Ⅰ）民族、社会
 3. 〃（Ⅱ）政治文化
 4. インカ帝国から植民地支配：連続性と断絶
 5. 独立期の政治（19世紀）
 6. 初期近代化とオルガルキー支配
 7. 民衆の登場とポピュリズム運動
 8. ポピュリズムの政治経済学
 9. 権威主義体制の生成と崩壊
 10. 民主化と市場化：政治文化との相克
 11. 各国別の動向
 12. まとめ

【評価方法】 定期試験と授業参加度による。

【テキスト】 遅野井 茂雄「ラテンアメリカの政治」 国本・中川編『ラテンアメリカ研究への招待』新評論1997年

【その他】 参考書：加茂雄三・遅野井茂雄他著『ラテンアメリカ』自由国民社1999年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42656	ラテンアメリカ経済史	選	春学期	2	3・4	富野 幹雄	
他の科目との関連	現代ラテンアメリカ経済					他学科履修	可

【講義内容】 新大陸の発見に先立つ大航海時代から、ブラジルの歴史で現代と呼ばれる時期まで－1930年－の同国の経済活動の動向について、とくに構造改革を受ける事件が発生したかどうかという視点を軸として講義する。

【講義計画】 秋学期開講予定の「現代ラテンアメリカ経済A（ブラジル）」を履修するのに必要な歴史的な基礎知識を与えることを目的としている。

【評価方法】 学年末の筆記試験あるいはレポート提出。

【テキスト】 「ブラジル学を学ぶ人のために」（世界思想社）。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42661	ラテンアメリカの経済	選	秋学期	2	3・4	富野 幹雄	
他の科目との関連	現代ラテンアメリカ経済					他学科履修	可

【講義内容】 現代ブラジルにおける経済的な諸問題、とくに工業化過程と経済開発計画に伴う問題点について述べる。時間の許すかぎり、現政権についても言及したい。

【講義計画】 1930年以降から現在に至る期間のブラジル経済の状況についての基本的な知識を学生が持ち、さらには同地域に対して一層の関心を抱くようになることを目指す。

【評価方法】 学年末の筆記試験あるいはレポート提出。

【テキスト】 「ブラジル学を学ぶ人のために」(世界思想社)。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42666	ラテンアメリカの経済政策	選	春学期	2	3・4	安原 毅	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 90年代ラテンアメリカのネオリベラル政策

【講義内容】 ラテンアメリカ諸国のうち特にスペイン語圏・カリブ海諸国を中心に、現代における主要な政治経済問題を現状、政策と理論の双方から解説する。中級レベルの国際マクロ経済学・開発経済学の理論を解説するので、受講者は経済学の基礎レベルの授業を履修していることが望ましい。

【講義計画】
 1、ラテンアメリカの開発政策の展開
 2、1980年代債務危機とネオリベラリズム
 3、90年代の通貨危機、メキシコ、ブラジル、アルゼンチン
 4、国際収支勘定の構成
 5、金利、為替レート、資本移動

【評価方法】 学期末に筆記テストを行う。

【テキスト】 石黒馨編「ラテンアメリカ経済の構図」(世界思想社)(2002年4月刊行予定)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42681	ポルトガル語比較文法	選	秋学期	2	3・4	富野 幹雄	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 最初、音韻の面に限ってブラジルのポルトガル語とポルトガル本国で使われているポルトガル語の比較をし、次にポルトガル語とガリシア語の比較文法を勉強したい。

【講義計画】 履修学生にプリントを配布し、各自がそれを用いて分担部分を調べて報告する形式の授業としたい。

【評価方法】 レポート提出と授業中の報告。

【テキスト】 「ポルトガル語からガリシア語へ」(大学書林)。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42686	ブラジル・ポルトガル文化研究	選	春学期	2	3・4	富野 幹雄	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 現代ブラジル文化の源流をなすポルトガル文化についての基礎的な知識の吸収を出発点として、ブラジルの人種関係のために種々の文献を紹介したのち、講読する。

- 【講義計画】 講読だけでなく、履修学生の関心を抱いている課題に応じて、研究報告をしてもらう予定。
- 【評価方法】 レポート提出と課題報告。
- 【テキスト】 参考文献：「ブラジル研究入門」（晃洋書房）。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42691	スペイン特殊研究	選	秋学期	2	3・4	木下 登	
他の科目との関連						他学科履修	可

- 【講義内容】 スペイン現代思想を代表する思想家ウナムーノ、オルテガ、スピリを取り上げて、その思想をヨーロッパというコンテキストの中で検討するとともに、その特質を論ずる。
- 【講義計画】
- 19世紀のスペイン思想
 - ・サンス・デル・リオとクラウゼ主義
 - ・ヒネルと自由教育学院
 - 20世紀のスペイン思想
 - ・ミゲル・デ・ウナムーノ
 - ・ホセ・オルテガ・イ・ガセット
 - ・ハビエル・スピリ
- 【評価方法】 レポートと出席で評価する
- 【テキスト】 「スペイン思想史」（授業時に配布）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42696	ラテンアメリカ特殊研究	選	秋学期	2	3・4	安原 毅	
他の科目との関連						他学科履修	可

- 【副題】 ラテンアメリカの開発と低開発
- 【講義内容】 スペイン語圏を中心とするラテンアメリカ各国における、工業化、インフレ、貧困といった問題について解説する。特に理論的フレームワークに重点を置く。また予備必修科目は特に指定しないが、受講生は経済学の基礎的な科目（担当教官は不問）を受講していることが望ましい。
1980年代以後の経済危機下の問題に焦点をあてて、理論と実証の両面から検討する。
- 【講義計画】
- ラテンアメリカの開発戦略の歴史
 - 労働問題、所得分配、インフレーション
 - 政府の役割：貧困対策
 - 90年代の地域統合：NAFTAとMERCOSUR
- 【評価方法】 筆記テストによる。
- 【テキスト】 石黒馨編「ラテンアメリカ経済の構図」（世界思想社）（2002年4月刊行予定）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42701	スペイン語学特殊研究	選	春学期	2	3・4	高橋 覚二	
他の科目との関連	対照言語学					他学科履修	可

- 【講義内容】 スペイン語の構造を文のレベル、句のレベルで究明する。中でも文の中核となる動詞に焦点を当てたい。
- 【講義計画】 以下の項目について検討する。1) スペイン語の文の構造、2) 文の要素、3) 品詞、4) 動詞句、5) 法性、6) 時制、7) 非人称形と準節、8) 名詞句、9) 限定詞、10) 構文と語順
- 【評価方法】 試験、授業中の態度、出席率から総合的に判断
- 【テキスト】 随時指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42706	スペイン法	選	秋学期	2	2～4	黒田 清彦	
他の科目との関連						他学科履修	可

- 【副題】 スペインの国家体制と企業体制
- 【講義内容】 今年度は、前半においてスペイン憲法下の基本的人権を、後半において会社法制を扱います。スペイン法を学ぶことによって、日本法を見直し、あるいは我が国の法におけるとは異なる価値観を彼国の法に見出すことにより、国際的視野を涵養したいものです。「国際」というのは、「国」の存在を前提とした概念であり、他国を知りかつ自国を知るが故の国際性であると考えます。
- 【講義計画】 基本的人権：①総論、②外国人の地方参政権、③死刑の廃止、④良心的兵役拒否、⑤離婚の容認、⑥オンブズマン制度。
会社法制：①総論（会社とは何か）、②会社法改正の経緯、③一人会社と最低資本制、④株式制度、⑤経営機構、⑥監査制度。
* 時間の許す限り、歴史的な背景や社会的な要因にも触れて、時には私の生活体験をも織り混ぜたり、スペインを訪問したゼミ旅行の成果をも紹介しながら、分かりやすい講義を心がけます。
- 【評価方法】 定期試験および小テストの結果で評価します。定期試験の受験は最低要件ですが、正当な理由なしに小テストを受けなかった者および答案返却に応じなかった者は、履修放棄とみなされますので、くれぐれも御注意下さい。
- 【テキスト】 拙稿「スペイン憲法二〇年」南山法学第23巻第1・2号
拙著『新スペイン株式会社法の研究』中央経済社（3,605円）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
42711 42716	スペイン文学特殊研究A・B	選	春学期 秋学期	各2	3・4	有本 紀明	
他の科目との関連						他学科履修	可

- 【副題】 スペインの社会と文化
- 【講義内容】 日本であまり知られていないスペイン・バロック演劇について、特に当時のマドリードの常設劇場の様子、演劇理論、劇作品の様式等を概説したあと、ロペ・デ・ベガ、ティルソ・デ・モリーナ、カルデロンの傑作を数篇とりあげ分析する。また作品のテーマやモチーフにかかわる社会的要素についても言及する。

- 【講義計画】
1. スペイン大衆演劇のはじまり
 2. ルネッサンス演劇からバロック演劇へ
 3. ロペ・デ・ベーガの演劇
 4. ティルソ・デ・モリーナ
 5. カルデロンの技法

【評価方法】 研究発表、期末の試験等で評価する。

【テキスト】 プリント

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
42721 42726	ポルトガル語研究Ⅰ、Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	富野 幹雄
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 ポルトガル語研究Ⅰ
 スペイン語との差異に注意しながら、ブラジルのポルトガル語文法の基礎を学ぶ。Ⅰの授業では直説法の終わりまでを扱い、Ⅱではその残りの部分を学習する。それゆえ、ⅠとⅡを連続して履修することを前提としている。

ポルトガル語研究Ⅱ
 ブラジルのポルトガル語文法学習を接続法を中心に継続し、完了する。

【講義計画】 前以って練習問題を勉強して、意欲的に学習に取り組んでくれることを期待している。

【評価方法】 学年末の筆記試験。

【テキスト】 「ポルトガル語文法の要点」。

【その他】 参考文献：「スペイン語からポルトガル語へ」（大学書林）。

外 国 語 学 部
フランス学科

外国語学部

(2000生以降)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43101	フランスの文化と社会 I	必	春学期	2	1	栗須 公正	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 フランス文化入門——歴史と文学——

【講義内容】 フランス学科生向けの授業で、専門のフランス研究（文学・語学・文化・歴史・法制・政治など）の基礎となるべきものである。フランスの文学・語学・歴史などについて基礎的・概括的知識を与えることを目的とする。

【講義計画】 パリを中心としたフランスの歴史とフランスの文学（フランス語をふくむ）を時代ごとに概観し、全体像をつかむ。
 (1)序 (2)中世紀 (3)16世紀 (4)17世紀
 (5)18世紀 (6)19世紀 (7)20世紀 (8)まとめ

【評価方法】 出席を重視する。定期試験を中心とし、これに平常点（小テスト等）を加えて総合的に判断する。

【テキスト】 『パリ・歴史の風景』（饗庭孝男編）、山川出版社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43106	フランスの文化と社会 II	必	秋学期	2	1	倉田 信子	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 フランス文化史

【講義内容】 フランス学科生向けの授業で、専門のフランス研究（文学・語学・文化・歴史・法制・政治など）の基礎となるべきものである。フランスの衣食住・芸術・文化など論じる。これらの基礎知識をきっかけにして、学生たちが自らの専門領域を見出すことを目指す。

【講義計画】 衣食の文化や中世から現代までの芸術をスライドを示しながら説明する。日程は講義初日に配付する。

【評価方法】 毎回、その日の講義のまとめを提出し、これを平常点とする。さらに定期試験を行なう。

【テキスト】 プリント配付。参考文献は毎回指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43111	総合フランス語 I 文法	必	春学期	1	1	真野 倫平	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 フランス学科1年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 1年次生を対象にした一連の授業「基礎フランス語 I・II (A~D)」との連携を図りつつ、フランス語の骨組みとしての基礎的な「文法」を総合的に学習する。

【講義計画】 「基礎フランス語 I・II (A~D)」がフランスで開発された教科書を用いるのに対し、本授業では、それと並行して、日本人の作成した教科書で体系的に文法を学ぶ。これによって初学者の陥りがちな文法的混乱を防ぐと同時に、2年次以降において専門的な資料を読むための高度な読解力を養う。

【評価方法】 授業における応答、小テスト、練習問題、期末試験、出席状況など全般的な評価を行う。

【テキスト】 平野和彦『フランス語のセレナーデ』駿河台出版社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43116	総合フランス語Ⅱ文法	必	秋学期	1	1	真野 倫平	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 フランス学科1年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 1年次生を対象にした一連の授業「基礎フランス語Ⅰ・Ⅱ（A～D）」との連携を図りつつ、「総合フランス語Ⅰ文法」に引き続き、フランス語の骨組みとしての基礎的な「文法」をさらに総合的に学習する。

【講義計画】 「基礎フランス語Ⅰ・Ⅱ（A～D）」がフランスで開発された教科書を用いるのに対し、本授業では、それと並行して、日本人の作成した教科書で体系的に文法を学ぶ。これによって初学者の陥りがちな文法的混乱を防ぐと同時に、2年次以降において専門的な資料を読むための高度な読解力を養う。

【評価方法】 授業における応答、小テスト、練習問題、期末試験、出席状況など全般的な評価を行う。

【テキスト】 平野和彦『フランス語のセレナーデ』駿河台出版社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43121 43126	総合フランス語Ⅰ・Ⅱコミュニケーション	必	春学期 秋学期	各1	1	栗須 公正	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 総合フランス語Ⅰコミュニケーション
1年次生を対象にした一連の授業「基礎フランス語Ⅰ・Ⅱ（A～D）」との連携を図りつつ、フランス語によるコミュニケーションの基礎的な能力（特に、「読み、書く」能力）を総合的に学習する。
総合フランス語Ⅱコミュニケーション

1年次生を対象にした一連の授業「基礎フランス語Ⅰ・Ⅱ（A～D）」との連携を図りつつ、「総合フランス語Ⅰコミュニケーション」に引き続き、フランス語によるコミュニケーションの基礎的な能力（特に、「読み、書く」能力）をさらに総合的に学習する。

【講義計画】 春学期 「基礎フランス語Ⅰ」との関連を考えながら、使用教科書（第1課～第8課）により、基礎文法の習得、講読の練習、基本的フランス語表現の習得を行い、コミュニケーション基礎能力の養成を図る。

秋学期 「基礎フランス語Ⅱ」との関連を考えながら使用教科書（第9課～第16課）により、文法、講読、表現の学習を行い、一層のコミュニケーション基礎能力の養成を図る。

【評価方法】 定期試験を中心とし、これに平常点（小テスト等）を加えて総合的に判断する。

【テキスト】 『フランス語のセレナーデ』（平野和彦著）、駿河台出版

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43201	フランスの文化と社会Ⅲ	必	春学期	2	2	大久保 泰甫	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 現代フランスの国家と社会

【講義内容】 フランス学科生向けの授業で、専門のフランス研究（文学・語学・文化・歴史・法制・政治など）の基礎となるべきものである。フランスの政治制度・経済・社会・外交・地理などフランスの現状を概説する。

【講義計画】 「フランスの文化と社会」（Ⅰ～Ⅳ）は、全体としてフランスの文化と社会を多角的に理解することを目指す。Ⅲにおいては、現代フランスの国家と社会について基礎的知識を与えることを目的とする。日本社会もそうであるが、最近のフランスは、ここ20～30年のあいだに著しい変化を遂げつつある。しかし他方、その下には、歴史的に堆積された幾重もの変わらぬ地層が存在している。

このような今日のフランスの現実の様相を、いくつかのトピックを選んで浮き彫りにしてみたい。

次のような問題を取り上げる予定。(1) 統治機構（大統領、政府、国会）と政党、(2) 行政組織と官僚、(3) 対外関係、(4) 「フランス人」と移民、(5) エリートの養成、(6) フランス人と労働——ヴァカンスと「時短」、(7) 現代フランスの家族

【評価方法】 平常点（「欠席過多」を適用）、および定期試験（筆記）の結果で評価する。

【テキスト】 テキストはない。参考文献は授業の際に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43206	論文作成法	必	秋学期	2	2	丸岡 高弘	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 本科目は学生の文献解読ならびに文章作成能力を養成し、最終学年度における卒業論文作成のための基本的な能力を育成することを目的とする。具体的には、本学科の学問領域に関連する数十ページのテキスト（日本語）を読ませ、それに関して要約やコメント、感想、批判の文章を作成させ、講義担当者がそれを添削する。

【評価方法】 授業時の小テストとレポート

【テキスト】 プリントで配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43211	総合フランス語Ⅲ文法	必	春学期	1	2	倉田 信子	
他の科目との関連	総合フランス語ⅢコミュニケーションA・B・C					他学科履修	不可

【副題】 フランス学科2年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」の一部である。1年次に引き続き、外国人学習者向けの中級教材を用い、外国人教員と日本人教員が連携して視聴覚教育を行う。週4回の授業により、フランス語によるコミュニケーション能力（聴く、話す、読む、書くという四技能）を総合的に養成する。この授業では、主に、コミュニケーションに役立つ実践的な中級文法を学習する。

【講義計画】 教科書 *Forum 2* の「文法」を扱う。

【評価方法】 平常点と定期試験。

【テキスト】 *Forum 2*, Hachette.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
43216	総合フランス語Ⅳ文法	必	秋学期	1	2	倉田 信子
他の科目との関連	総合フランス語ⅣコミュニケーションA・B・C					他学科履修 不可

【副題】 フランス学科2年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」の一部である。1年次に引き続き、外国人学習向けの中級教材を用い、外国人教員と日本人教員が連携して視聴覚教育を行う。週4回の授業により、フランス語によるコミュニケーション能力（聴く、話す、読む、書くという四技能）を総合的に養成する。「総合フランス語Ⅲ文法」に引き続き、この授業でも、コミュニケーションに役立つ実践的な中級文法の学習をさらに深める。

【講義計画】 教科書 *Forum 2* の「文法」を扱う。

【評価方法】 平常点と定期試験。

【テキスト】 *Forum 2*, Hachette.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
43221	総合フランス語ⅢコミュニケーションA	必	春学期	1	2	倉田 信子
他の科目との関連	総合フランス語Ⅲ文法、コミュニケーションB・C					他学科履修 不可

【副題】 フランス学科2年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」の一部である。1年次に引き続き、外国人学習者向けの中級教材を用い、外国人教員と日本人教員が連携して視聴覚教育を行う。週4回の授業により、フランス語によるコミュニケーション能力（聴く、話す、読む、書くという四技能）を総合的に養成する。この授業では、主に、コミュニケーションに役立つ「読み、書く」技能の体得を目指す。

【講義計画】 教科書 *Forum 2* の「本文」を扱う。

【評価方法】 平常点と定期試験。

【テキスト】 *Forum 2*, Hachette.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
43226	総合フランス語ⅣコミュニケーションA	必	秋学期	1	2	倉田 信子
他の科目との関連	総合フランス語Ⅳ文法、コミュニケーションB・C					他学科履修 不可

【副題】 フランス学科2年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」の一部である。1年次に引

き続き、外国人学習者向けの中級教材を用い、外国人教員と日本人教員が連携して視聴覚教育を行う。週4回の授業により、フランス語によるコミュニケーション能力（聴く、話す、読む、書くという四技能）を総合的に養成する。この授業でも、「総合フランス語ⅢコミュニケーションA」に引き続き、主に、コミュニケーションに役立つ「読み、書く」技能のさらなる体得を目指す。

【講義計画】 教科書 *Forum 2* の「本文」を扱う。

【評価方法】 平常点と定期試験。

【テキスト】 *Forum 2*, Hachette.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
43231) 43233	総合フランス語ⅢコミュニケーションB a・b・c	必	春学期	1	2	SCHUBERT Johannes REBOLLAR Patrick COURRON David
他の科目との関連	総合フランス語Ⅲ文法、コミュニケーションA・C					履修対象学科 不可

【副題】 フランス学科2年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」の一部である。1年次に引き続き、外国人学習者向けの中級教材を用い、外国人教員と日本人教員が連携して視聴覚教育を行う。週4回の授業により、フランス語によるコミュニケーション能力（聴く、話す、読む、書くという四技能）を総合的に養成する。この授業では、主に、コミュニケーションに役立つ「聴き、話す」技能の体得を目指す。

【評価方法】 平常点と定期試験

【テキスト】 A. CAMPA, J.MURILLO, C.MESTREIT, M. TOST. -FORUM 2.-PARIS : HACHETTE, 2001.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
43236) 43238	総合フランス語ⅣコミュニケーションB a・b・c	必	秋学期	1	2	REBOLLAR Patrick SCHUBERT Johannes COURRON David
他の科目との関連	総合フランス語Ⅳ文法、コミュニケーションA・C					履修対象学科 不可

【副題】 フランス学科2年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」の一部である。1年次に引き続き、外国人学習者向けの中級教材を用い、外国人教員と日本人教員が連携して視聴覚教育を行う。週4回の授業により、フランス語によるコミュニケーション能力（聴く、話す、読む、書くという四技能）を総合的に養成する。この授業でも、「総合フランス語ⅢコミュニケーションB」に引き続き、主に、コミュニケーションに役立つ「聴き、話す」技能のさらなる体得を目指す。

【評価方法】 平常点と定期試験

【テキスト】 A. CAMPA, J.MURILLO, C.MESTREIT, M. TOST. -FORUM 2.-PARIS : HACHETTE, 2001.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43241) 43243	総合フランス語ⅢコミュニケーションC a・b・c	必	春学期	1	2	REBOLLAR Patrick SCHUBERT Johannes COURRON David	
他の科目 との関連	総合フランス語Ⅲ文法、コミュニケーションA・B					履修 対象学科	不可

【副題】 フランス学科2年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」の一部である。1年次に引き続き、外国人学習者向けの中級教材を用い、外国人教員と日本人教員が連携して視聴覚教育を行う。週4回の授業により、フランス語によるコミュニケーション能力（聴く、話す、読む、書くという四技能）を総合的に養成する。この授業では、「総合フランス語ⅢコミュニケーションB」と並行して、主に、コミュニケーションに役立つ「聴き、話す」技能の体得を目指す。

【評価方法】 平常点と定期試験

【テキスト】 A. CAMPA, J. MURILLO, C. MESTREIT, M. TOST. -FORUM 2.-PARIS : HACHETTE, 2001.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43246) 43248	総合フランス語ⅣコミュニケーションC a・b・c	必	秋学期	1	2	REBOLLAR Patrick SCHUBERT Johannes COURRON David	
他の科目 との関連	総合フランス語Ⅲ文法、コミュニケーションA・C					履修 対象学科	不可

【副題】 フランス学科2年生に対するフランス語強化授業

【講義内容】 2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」の一部である。1年次に引き続き、外国人学習者向けの中級教材を用い、外国人教員と日本人教員が連携して視聴覚教育を行う。週4回の授業により、フランス語によるコミュニケーション能力（聴く、話す、読む、書くという四技能）を総合的に養成する。この授業でも、「総合フランス語ⅢコミュニケーションC」に引き続き、「総合フランス語ⅣコミュニケーションB」と並行して、主に、コミュニケーションに役立つ「聴き、話す」技能のさらなる体得を目指す。

【評価方法】 平常点と定期試験

【テキスト】 A. CAMPA, J. MURILLO, C. MESTREIT, M. TOST. -FORUM 2.-PARIS : HACHETTE, 2001.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43251 43256	中級フランス語講読AⅠ・AⅡ	必	春学期 秋学期	各1	2	REBOLLAR Patrick	
他の科目 との関連						他学科 履修	不可

【講義内容】 中級フランス語講読AⅠ

2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」との連携を図りつつ、フランス語の中級程度の読解能力を総合的に学習する。この授業は、3・4年次でフランス語専門文献を講読するための準備となる。

中級フランス語講読AⅡ

2年次生を対象にした一連の授業「総合フランス語Ⅲ・Ⅳ（文法・A～C）」との連携を図りつつ、フランス語の中級程度の読解能力を総合的に学習する。「中級フランス語講読AⅠ」に引き続き、この授業も、3・4年次でフランス語専門文献を講読するための準備をさらに整えるものである。

- 【講義計画】 Cours associé aux cours de «communication B et C». Lecture de documents du manuel *Forum et d'autres documents sur les mêmes sujets. La découverte du monde francophone permet aussi d'améliorer la lecture selon ses trois principaux composants: la phonétique, le rythme et la mélodie; tout en essayant de comprendre le sens profond et les motivations des textes.*

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43301	演習 I	必	通年	4	3	大久保 泰甫	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副題】 フランスの家族とその制度

- 【講義内容】 いかに文献を読み、いかに研究して、それをいかに論文の形にまとめることができるのかを学ぶ。具体的には、それぞれの分野における作品・文献を読み、資料収集・資料研究をしながら、各研究領域に必須の専門知識・技術を身につけると同時にその研究方法・研究動向についても広く学び、将来の卒業論文のテーマを設定する準備をする。

- 【講義計画】 「家族は社会の基礎細胞である。」 フランスは、よく個人主義の国だと言われますが、伝統的に、家長を中心とする集団としての家族の枠組みと結合は、法的制度として強固に守られてきました。しかし、第5共和制成立以後、家族の法制が次々に改正されていきました。平等の権利の原則が、夫と妻、父と母（親権）、嫡出子と自然子（私生子）の間で貫徹されていきました。加えて、1960-70年代以降、アメリカやヨーロッパ全体に拡大した離婚や非婚同棲カップルの著しい増加が、フランスにも波及し、離婚制度が改正されました（1975年）。

しかし、ここまでの変化は、フランス家族法の「近代化」と受け止められたのですが、最近に至り、この動きは、実は基礎からの全面的見直し（refondation）であり、おそらく非常に巨大な変動（lame de fond）の現れであることが分かってきました。

1999年が、その開幕の時期です。この年に、大論争の末に、「連帯共同生活合意」（PACS）制度が民法典に加えられました。[PACS, Pacte Civil de Solidaritéとは、非婚の「異性または同性のカップルが共同生活を組織するために結ぶ契約」であり、同性同士を含む同棲者で登録をしたものに、一定の法的効果を与えたものです。Mariage-bisと言われています。]また、その外、家族法全面再検討委員会の活動が始まりました。家族の法制は、人々の意識、更には、その無意識にまで根を下ろしているものですから、たとえば、PACSの賛否を巡って、議会ばかりではなく、各種のメディア（テレビ、新聞雑誌）でも大激論が交わされ、立場の違いいくつものデモさえ組織されたのです。

他方、生命科学の急速な発展に伴い、高度医療技術による人工的妊娠・出産や受精卵の法的規律、更にはクローン人間問題への対応は、言うまでもなく、家族とのかかわりでも重要な意味をもっています。

本演習では、「フランスの家族とその制度」をテーマとして、家族の観念、その人的関係の側面、その財産的關係の側面、を3つの柱として立て、歴史と現状について、日本との比較の視点を重視しつつ、学んでいきたいと思っています。

日本語・フランス語のテキスト講読、参加者の研究発表を適宜組み合わせます。できれば、フランス人などのゲストもよびたいと思っています。これと並行して卒業論文指導を行います。

- 【評価方法】 平常点（出席状況、テキスト講読、発表）、及びレポート

- 【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43302	演習 I	必	通年	4	3	練尾 毅	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副題】 フランス語を考える

- 【講義内容】 いかに文献を読み、いかに研究して、それをいかに論文の形にまとめることができるのかを学ぶ。具体的には、それぞれの分野における作品・文献を読み、資料収集・資料研究をしながら、各研究領域に必須の

専門知識・技術を身につけると同時にその研究方法・研究動向についても広く学び、将来の卒業論文のテーマを設定する準備をする。

【講義計画】 『フランス語とはどういう言語か』（大橋保夫ほか著、駿河台出版社、1993年）を批判的に読みながら、コトバの働き、フランス語の仕組みの理解をめざすと同時に、フランス語学研究への案内を行なう。

◇春学期：

1. 名詞の性、単数と複数
2. 可算・非可算と冠詞
3. 代名詞
4. 能動と受動
5. 過去と完了
6. 「法」とは何か？

◇秋学期：

7. 指示と照応（1）
8. 指示と照応（2）
9. 時制・アスペクト・モダリティ（1）
10. 時制・アスペクト・モダリティ（2）
11. 受動文
12. 非人称構文

【評価方法】 平常点および筆記試験

【テキスト】 大橋保夫ほか、『フランス語とはどういう言語か』、駿河台出版社、1993年、2,950円。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43303	演習 I	必	通年	4	3	倉田 信子	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 バロック論——ヴェルサイユ庭園

【講義内容】 いかに関文を読み、いかに関研究して、それをいかに関論文の形にまとめることができるのかを学ぶ。具体的には、それぞれの分野における作品・文を読み、資料収集・資料研究をしながら、各研究領域に必須の専門知識・技術を身につけると同時にその研究方法・研究動向についても広く学び、将来の卒業論文のテーマを設定する準備をする。

【講義計画】 ルイ14世（1638-1715）の書いた『ヴェルサイユ庭園の案内法』とマドレーヌ・ド・スキュデリー（1607-1701）の『ヴェルサイユ散策』を読み、そこに描かれた初期のヴェルサイユ庭園をしのぶ。作り手がこの典型的なフランス・バロック庭園にどのようなメッセージを込め、鑑賞する者たちがそれをどのように受け止めていたかがおのずと浮かび上がってくるであろう。庭園は、現在では取り壊された部分も少なくないが、幸い、当時の版画や絵画が残されているので、文章を読み解く手掛かりになる。
ヴェルサイユ庭園の現状（スライド使用）と比較しつつ、バロック庭園の神髄とは何かを考えてゆく。毎回、テキストを少しずつ読み進みつつ、それを踏まえて各自が意見を述べ合う形式を取る。

【評価方法】 平常点・レポート・定期試験

【テキスト】 プリント配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43304	演習 I	必	通年	4	3	真野 倫平	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 フランス歴史学

【講義内容】 いかに文献を読み、いかに研究して、それをいかに論文の形にまとめることができるのかを学ぶ。具体的には、それぞれの分野における作品・文献を読み、資料収集・資料研究をしながら、各研究領域に必須の専門知識・技術を身につけると同時にその研究方法・研究動向についても広く学び、将来の卒業論文のテーマを設定する準備をする。

【講義計画】 春学期は、20世紀の重要な歴史家（哲学者・思想家）の著作を抜粋して講読し、彼らの仕事について紹介してゆきたい。具体的には、アリエス、コルバン、フーコーらのテキストをとりあげるつもりである。同時に、そこに浮かび上がる現代思想の諸問題について考えてゆきたい。

秋学期は、履修者の発表を中心に授業を行う。学生は卒業論文の作成を目指して、各自の問題意識に合わせた研究テーマを早めに見つけること。発表後はその内容について全員で議論を行う。学生全員が積極的に議論に参加することが望まれる。

【評価方法】 授業への参加状況（発表・議論等）ならびにレポート

【テキスト】 プリントで配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43305	演習 I	必	通年	4	3	COURRON David	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 2002年：フランス政治制度が作動する年

【講義内容】 いかに文献を読み、いかに研究して、それをいかに論文の形にまとめることができるのかを学ぶ。具体的には、それぞれの分野における作品・文献を読み、資料収集・資料研究をしながら、各研究領域に必須の専門知識・技術を身につけると同時にその研究方法・研究動向についても広く学び、将来の卒業論文のテーマを設定する準備をする。

【講義計画】 フランスの政治は2002年、2つの非常に重要な選挙によってクローズアップされます。5月の大統領選挙と6月の国民議会議員選挙です。これらの投票の結果は、以後5年間のフランスの経済社会政策、ヨーロッパ政策や対外政策までも左右することになるでしょう。将来フランスの行う政治的諸決定と、それがフランス人ひとりひとりの日常生活にもたらす結果を理解するためには、それらの由って来た源はどのようなものか、それらを策定しているのはどういう人間か、どのような形で、いかなる限定的な枠の中で、誰のコントロール下において行われているのかを知ることが欠かせません。つまり、憲法で定められ組織されている政治行政制度を知ることが必要なのです。

このようにして、私は、憲法と憲法が実施するメカニズムの学習によって、皆さんがフランス政治の機能の仕組みを発見し、その立役者たちに慣れ親しむことを提案します。それは皆さんにフランス社会の諸変化を理解する鍵を与えるでしょう。平行して、雑誌記事、フランスのテレビニュース報道、フランス市民としての私自身の経験などを交えながらこれらの問題を生き生きととらえ、皆さんが「政治とは本当に面白くなりえるのだ」と気づくように努めます。

前期には、フランス人の選択を理解するために以下のことを理解します。

1. フランス共和国大統領とは何者か：その社会的地位、選挙、権限
2. 国民議会議員とは何者か：二院制、彼らの地位、選挙と役割
3. 政府とは何者か：首相と大臣、彼らの任命と権限
4. 2002年の選挙結果をどう分析するか

後期には、フランス社会の変化の諸様相を把握するために次のことを探求していきます。

1. 1958年10月4日憲法の起源
2. 国家の諸特徴
3. 法律と命令（執行権による立法）の分野の区別
4. 法規範のヒエラルキーと国際法規範の位置付け
5. 議会による政府の活動のコントロール
6. 法律の合憲性審査
7. 行政組織と地方分権
8. 司法制度の概要

【評価方法】 単位取得は、筆記試験の結果によるが、出席状況と討論等への積極的参加を加味する。

【テキスト】 バリ国民議会発行の1958年10月4日憲法（冊子を配布）及びプリント類

【その他】

(参考文献)

- ・澤田昭夫『論文の書き方』講談社学術文庫、2000
- ・草場安子『現代フランス情報辞典・キーワードで読むフランス社会』大修館書店、2001
- ・樋口陽一、吉田善明『解説世界憲法集』三省堂、2001
- ・《La Constitution》commentée par Guy Carcassonne, Paris, Editions du Seuil, coll. Points, 4ème édition, 2000

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43306	演習 I	必	通年	4	3	栗須 公正	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 ゾラの文学と近代絵画

【講義内容】 いかに関文獻を読み、いかに関研究して、それをいかに関論文の形にまとめることができるのかを学ぶ。具体的には、それぞれの分野における作品・文獻を読み、資料収集・資料研究をしながら、各研究領域に必須の専門知識・技術を身につけると同時にその研究方法・研究動向についても広く学び、将来の卒業論文のテーマを設定する準備をする。

【講義計画】 本演習では、フランス近代小説研究の一環として、ゾラの『制作』を読む。ゾラはこの小説で、19世紀後半のバリの舞台に、ひとりの才能ある画家が新しい絵画の流れのなかで苦闘する姿を描いている。ゾラの美術批評、セザンヌ、マネなど同時代画家との交流はよく知られているが、印象派時代を対象としたこの作品を通じて、ゾラにおける文学と近代絵画の関係を考えてみたい。また、作品の背景をなす近代都市バリの変貌にも注目したい。

授業日程（初回配布）に基づき、テキスト講読、受講者の研究発表を行う。また、卒業論文につながるレポート指導も行う。

【評価方法】 レポート、及び授業における講読、発表、出席状況など総合的に評価する。

【テキスト】 1) Zola, *L'Oeuvre, classiques de Poche*, 1996, Edition de Marie-Ange VOISIN-FOUGERE.
2) エミール・ゾラ『制作』上下、岩波文庫（清水正和訳）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43501 43506	中級フランス語講読B I・B II	選	春学期 秋学期	各1	2	丸岡 高弘	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 中級フランス語講読B I
3・4年次において様々な分野の専門的文獻を読み、資料・情報収集を行い、研究を遂行するために必要となる幅広いフランス語の中級程度の読解能力をつけることを目指す。

中級フランス語講読B II

「中級フランス語講読B I」に引き続き、3・4年次において様々な分野の専門的文獻を読み、資料・情報収集を行い、研究を遂行するために必要となる幅広いフランス語の中級程度の読解能力をさらに深化向上させることを目指す。

【講義計画】 中級教科書《DIS DONC!》を用いて、フランス語の語彙・表現を豊かにする訓練を行う。また適宜、フランス語検定の模擬試験をおこない、仏検受験の準備をする。

【評価方法】 授業への積極的な参加と期末筆記試験。

【テキスト】 倉方秀憲他著『ディ・ドン』早美出版社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43601 43606	上級フランス語Ⅰ・Ⅱ会話	選	春学期 秋学期	各1	3	REBOLLAR Patrick	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Comprendre et commenter la littérature française

【講義内容】 上級フランス語Ⅰ会話
1・2年次の「総合フランス語」を受けて、フランス語による会話能力をさらに高めることを目指す。主に、現代社会のさまざまなトピックについてフランス語でディスカッションやプレゼンテーションをする能力を培う。

上級フランス語Ⅱ会話
1・2年次の「総合フランス語」を受けて、フランス語による会話能力をさらに高めることを目指す。「上級フランス語Ⅰ会話」に引き続き、主に、現代社会のさまざまなトピックについてフランス語でディスカッションやプレゼンテーションをする能力をさらに向上させる。

【講義計画】 Lecture et conversation sur les *textes essentiels* de la littérature française.
Pour chaque document proposé : 1. Lecture préparée. 2. Repérage du vocabulaire essentiel et des thèmes. 3. Idées principales. 4. Expression des opinions personnelles et discussion en utilisant le vocabulaire, les thèmes et les idées.

【評価方法】 Notes d'intervention en classe et d'exposés. Assiduité recommandée. Pas d'examen.

【テキスト】 Livre obligatoire : Ploquin, Française. — *Littérature Française, les textes essentiels*. — Paris : Hachette, 2000. — 128p. — (collection Outils).

【その他】 Classe avec rétro-projecteur (OHP).

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43602 43607	上級フランス語Ⅰ・Ⅱ会話	選	春学期 秋学期	各1	3	清水ベアトリクス	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 上級フランス語Ⅰ会話
1・2年次の「総合フランス語」を受けて、フランス語による会話能力をさらに高めることを目指す。主に、現代社会のさまざまなトピックについてフランス語でディスカッションやプレゼンテーションをする能力を培う。

上級フランス語Ⅱ会話
1・2年次の「総合フランス語」を受けて、フランス語による会話能力をさらに高めることを目指す。「上級フランス語Ⅰ会話」に引き続き、主に、現代社会のさまざまなトピックについてフランス語でディスカッションやプレゼンテーションをする能力をさらに向上させる。

【講義計画】 講義時間の最初に説明する。

【評価方法】 テーマにそった個人発表で評価。出席率・受講態度は重視します。

【テキスト】 プリントを使う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43611 43616	上級フランス語Ⅰ・Ⅱ作文	選	春学期 秋学期	各1	3	REBOLLAR PATRICK	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 Écrire en français : les genres textuels

【講義内容】 上級フランス語Ⅰ作文
1・2年次の「総合フランス語」を受けて、フランス語による作文能力をさらに高めることを目指す。主に、大学生活や社会生活を扱った教材を用いて、通信文、報告書、スピーチ原稿などを実際に書き、フランス語的発想を身につけ、論理的な表現法を学ぶ。

上級フランス語Ⅱ作文
1・2年次の「総合フランス語」を受けて、フランス語による作文能力をさらに一層高めることを目指す。「上級フランス語Ⅰ作文」に引き続き、主に、大学生活や社会生活を扱った教材を用いて、通信文、報告書、スピーチ原稿などを実際に書き、フランス語的発想を身につけ、論理的な表現法の体得を目指す。

【講義計画】 Commentaire de documents, de l'oral vers l'écrit. Pour apprendre à commenter avec clarté, à organiser sa pensée, à présenter ses idées.

Plusieurs types de documents seront étudiés : images au premier semestre (caricatures, publicités, peintures, photographies, etc.) ; textes au second semestre (maximes, poèmes, contes, etc.).

La description orale du document sera faite en classe, puis des éléments d'argumentation et d'analyse seront proposés pour la rédaction de textes individuels.

【評価方法】 Rapports en fin de semestre + 2 ou 3 notes de compositions préparées à la maison.
Assiduité recommandée. Pas d'examen.

【その他】 Classe informatique, avec vidéo-projecteur (OHP).
Photocopies distribuées (pas de livre à acheter).

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43612 43617	上級フランス語Ⅰ・Ⅱ作文	選	春学期 秋学期	各1	3	清水ベアトリックス	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 上級フランス語Ⅰ作文
1・2年次の「総合フランス語」を受けて、フランス語による作文能力をさらに高めることを目指す。主に、大学生活や社会生活を扱った教材を用いて、通信文、報告書、スピーチ原稿などを実際に書き、フランス語的発想を身につけ、論理的な表現法を学ぶ。

上級フランス語Ⅱ作文
1・2年次の「総合フランス語」を受けて、フランス語による作文能力をさらに一層高めることを目指す。「上級フランス語Ⅰ作文」に引き続き、主に、大学生活や社会生活を扱った教材を用いて、通信文、報告書、スピーチ原稿などを実際に書き、フランス語的発想を身につけ、論理的な表現法の体得を目指す。

【講義計画】 講義時間の最初に説明する。

【評価方法】 テーマにそった作文の提出で評価。出席率、受講態度は重視します。

【テキスト】 プリントを使う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
43701	フランス語表現法	選	春学期	2	3・4	COURRON David
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 和文仏訳や仏文和訳の実践例をつうじて、フランス語による表現形式を学ぶ。語彙や文法のレベルだけでなく、文のレベルでの表現の問題を扱い、さらに文章の論理的構成を分析的に学習するなど、フランス語での文章表現の問題を総合的に学ぶ。

【講義計画】 日常生活に密着した表現をフランス語に訳す練習を行なう。語彙を増やす、フランス語の文法のメカニズムを理解する、日本語とフランス語の論理と特徴の違いについて分析力を養うことを3つの柱とする。

一文につき一つの文法テーマを含んだ短文を毎回15題ほどフランス語に訳してきてもらい、教室で説明をしながら添削を行なう。

文法テーマは次の通りである。

- ① Les temps de l'indicatif (時制)
- ② Les relations de temps (時の関係)
- ③ L'expression du temps (時の表現)
- ④ La comparaison (比較)
- ⑤ Les pronoms relatifs (関係代名詞)
- ⑥ Les auxiliaires (準(半)助動詞)
- ⑦ Jugement et sentiment (～と思う・判断と感情の表現)
- ⑧ Ordre et interdiction (命令と禁止の表現)
- ⑨ Condition et hypothèse (条件と推測の表現)
- ⑩ Cause, circonstance et opposition (理由、状況と対立の表現)
- ⑪ But, conséquence et degré (目的、結果と程度の表現)

【評価方法】 単位取得は、筆記試験の結果によるが、出席状況と討論等への積極的参加を加味する。

【テキスト】 中村栄子『新フランス語作文実習Ⅱ』駿河台出版社に加え、プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
43706	フランス語翻訳法	選	秋学期	2	3・4	丸岡 高弘
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 フランス語と日本語のように、文法構造も異なり、またそれが育まれた文化環境の異なる言語間において、逐語的な翻訳では自然な表現となることは期待できない。本科目では日本語テキストのフランス語翻訳、フランス語テキストの日本語翻訳の実践的な学習を行い、それぞれの言語における自然な表現を実現することをめざす。

【講義計画】 本年度はフランス語テキストを自然な日本語に翻訳する作業を実践的に行なう。

【評価方法】 ふだんの翻訳作業と筆記試験

【テキスト】 プリントを配布

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
43711	フランス文法論	選	春学期	2	3・4	練尾	毅
他の科目との関連						他学科履修	可

【副 題】 現代フランス語文法

【講義内容】 フランス語の文法概念・文法規則とそれが担う意味内容をめぐる見解（学説）の相違を批判的に検討しながら、実用的見地からフランス語の文法を分析的かつ体系的に考察する。とくに日本人学習者にとって習得が難しいと思われる限定辞（冠詞など）、代名詞、動詞の時制（テンス）、法（ムード）などの用法に力点をおいて論じる。

【講義計画】 本年度は、主として（１）冠詞（定冠詞、不定冠詞、部分冠詞、無冠詞）、（２）動詞（直説法現在形、複合過去形、半過去形、単純過去形、未来形、条件法など）に関わる諸事実を具体例に則して考察する。文法的理解を深めるため、講義と平行して練習問題を課す。

◇春学期：

1. 定冠詞
2. 不定冠詞
3. 部分冠詞
4. 無冠詞（ゼロ冠詞）
5. 直説法現在形
6. 直説法半過去形
7. 直説法複合過去形
8. 直説法単純過去形
9. 直説法単純未来形と近接未来形
10. 直説法前未来形
11. 条件法現在形
12. 条件法過去形

【評価方法】 平常点と定期試験

【テキスト】 Michèle BOULARÈS et Jean-Louis FRÉROT, *Grammaire progressive du français avec 400 exercices. Niveau avancé*. Paris : CLE International, 1997. 12,70 euros [約 1,520円]

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
43716	フランス語学	選	秋学期	2	3・4	練尾	毅
他の科目との関連						他学科履修	可

【副 題】 フランス語学の諸問題

【講義内容】 これまでのフランス語研究の課題と成果を紹介しながら、フランス語の音声学、音韻論、形態論、統語論、語彙論、意味論、語用論などにかかわる領域とその研究方法を概観する。特に、文法概念・文法規則をめぐる学説、理論的枠組みについては詳しく取り上げる。

【講義計画】 日本語で書かれたテキスト（『フランス語を考える — フランス語学の諸問題Ⅱ』、三修社、1998年）により、言語を構成する大きな骨組みに従って、主に音韻論、統語論、意味論、語彙論、文体論等に関する具体的な問題を概観すると同時に、フランス語学への導入を図る。

1. フランス語音韻論
2. 冠詞
3. 前置詞
4. 代名詞（間接補語代名詞）
5. 照応
6. 属詞構文
7. 認知動詞

- 8. 時制とアスペクト (直説法半過去)
- 9. 時制とアスペクト (単純未来と近接未来)
- 10. モダリティ
- 11. ヴォイス (日本語とフランス語)
- 12. ヴォイス (受動態と受動的代名動詞)

【評価方法】 平常点と定期試験

【テキスト】 『フランス語を考えるーフランス語学の諸問題Ⅱ』、三修社、1998年、3,600円。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43721	フランス文学講読	選	春学期	2	3・4	栗須 公正	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 恋愛心理小説『赤と黒』を読む

【講義内容】 フランスの作家と作品についての専門的理解を深めるために、作家の思想、作品の成立状況、作品に対する批評と研究の歴史など作品に関連する諸問題を知り、さまざまな作品解釈の方法についても考慮しながらフランスの文学作品を読む。

【講義計画】 今回は、恋愛心理分析に光をあてながらスタンダール『赤と黒』を読み、フランス心理小説の流れのなかでのこの小説の新鮮さについて考えたい。
近年の研究成果を組み込んだ最新の批評版テキストを用いて講読を行う。進行予定表は授業開始時に配布する。

【評価方法】 試験、授業における講読、出席状況など総合的に評価する。

【テキスト】 1) Stendhal, *Le Rouge et le Noir*, édition de Michel Crouzet, Classiques de Poche, 1997.
2) スタンダール『赤と黒』 (小林正訳)、上下、新潮文庫

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43726	フランス文学研究	選	秋学期	2	3・4	栗須 公正	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 スタンダールの小説とジャーナリズム

【講義内容】 作家、作品、文学史などに関してフランス文学を専門研究の観点から深く理解するために、研究の歴史と現在の研究の状況を伝えるとともに、フランス文学に対する新しい視点からの考察を可能にするような特定のテーマについて講義する。

【講義計画】 今回は、スタンダールの小説のなかに、フランスの新聞報道がどのように反映しているかを眺め、小説と社会の関係について考えたい。スタンダールはジャーナリスト活動をするとともに熱心な新聞愛読者であり、『赤と黒』『リュシアン・ルーヴェン』の誕生における新聞の貢献はよく知られている。では、スタンダールは新聞をどのように読み、どのように小説を作っていたか。1820年代、30年代の法廷新聞、政治・文学新聞の各紙を参照しながら作品と新聞の関係を検討したい。
講義計画としては、次の各項を考えている。
1) 1820年代、1830年代のフランス・ジャーナリズム
2) スタンダールのジャーナリスティック活動
3) 作品にあらわれた新聞の反映

【評価方法】 レポート、授業への参加度、出席状況など総合的に評価する。

【テキスト】 プリント資料を配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43731	フランス文学史	選	春学期	2	3・4	倉田 信子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 中世から現代に至るフランス文学の流れを、中世・ルネサンス・バロック・古典主義・ロマン主義・写実主義といった時代別の考察と、詩・小説・演劇・文芸批判などのジャンル別の考察を交差させフランス文学の諸相を重層的に理解する。また文学研究の方法についても考える。

【講義計画】 全11回の講義を、①中世、②16世紀、③17世紀1-3、④18世紀、⑤19世紀1-3、⑥20世紀1-2の予定で行う。

【評価方法】 毎回、まとめの短文を提出して平常点とし、これと定期試験の結果を総合的に判断する。

【テキスト】 適宜プリントを配付。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43736	フランスの社会と文学	選	春学期	2	3・4	丸岡 高弘	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 本講義では、フランスの社会と文学の影響関係の諸相に触れる。作家の社会的・文化的環境と時代背景といった作家と社会の問題、また作品がどのように受け入れられたかという作品と社会の問題、さらに読者の社会的・文化的環境と時代背景といった読者と社会の問題などを講義する。

【講義計画】 本年度は普仏戦争からドレフュス事件にいたるまでのフランス文学の同時代社会に対する関わりを取り上げる。とりわけ普仏戦争時のユゴーの演説、アルザス・ロレーヌ割譲に関してルナンの行った講演「国民とはなにか」、ドレフュス事件にかんしてゾラが新聞発表した「我、告発する」などのテキストが中心となる。本講義は上記テキストの学生による訳読作業と担当者による解説がそれぞれ半分を占めるような時間配分によっておこなわれる。

【評価方法】 授業中の訳読の質と期末の筆記試験による。

【テキスト】 プリントにより配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43741	フランス精神	選	春学期	2	3・4	飯野 和夫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 フランス精神についての古典的研究——たとえばクルツィウスの『フランス文化論』など——を初めに一読し、それを手掛かりにフランス精神の諸相——ラジカリズム、伝統主義、ユマニスムなど——を、実際に代表的な作家・思想家の著作などにもふれながら考える。フランス革命などの社会事象についても考えてみたい。

【講義計画】 まず、古典的研究から適宜重要部分を読み、フランス精神を概観する。次いで、フランス人の精神のいくつかの側面の典型をなしていると思われる作家・思想家に実際にふれてみる。デカルト『方法序説』、バ

スカル『パンセ』、スタンダール『恋愛論』を翻訳を使って実際に読み、検討を加える。最後に、フランス精神と社会現象との関係についてもふれたい。

【評価方法】 受講者には実際に読書した内容をレポートとして提出してもらう。この平常点と、学期末試験を総合して評価する。

【テキスト】 上記のものを使用するが、入手法等については別途指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43746	フランスの歴史	選	春学期	2	3・4	真野 倫平	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 フランス史概観

【講義内容】 本講義ではジャンヌ・ダルクやナポレオンを生んだフランスの歴史について概観する。政治、社会、人種、言語、宗教などの側面に注目しつつ、中世、ルネサンス、宗教戦争、絶対王政、フランス革命、近代市民社会といった諸時代を通時的に辿ることで、フランス史の全体像をできるだけ明快に提示したい。同時に、各時代に関する主要な歴史家の見解をも適宜紹介してゆくつもりである。

【講義計画】 半年間の授業でなるべく効果的に中世から現代にいたるフランス史を概観したい。そのために、毎回ひとつの時代あるいはひとりの人物を取り上げ、それについて書かれたテキストを講読する。

【評価方法】 平常点ならびに試験

【テキスト】 教場で指示

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43751	フランスの文化	選	秋学期	2	3・4	真野 倫平	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 例えばジャンヌ・ダルクという主題が十九世紀のミシュレの歴史、二十世紀のオネゲルのオラトリオ、近年のリヴェットの映画に至るまで繰り返し登場するように、芸術の諸ジャンルは各々が固有の歴史を持ちながら互いに影響を与え合っている。本講義では絵画、建築、音楽、演劇、映画といったいくつかのジャンルを取り上げて概説することで、フランス文化の多様性と歴史的な厚みの一端を示したい。

【講義計画】 今年度は特に、ルネサンス以降現代にいたるフランスの絵画史を取り上げる。それぞれの時代の重要な画家とその代表作を紹介するとともに、それらの作品が制作された歴史的・社会的な背景について説明する。同時に同時代の他のジャンルとの関連についても触れるようにしたい。

【評価方法】 平常点ならびに試験

【テキスト】 高階秀爾『フランス絵画史』講談社学術文庫

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43756	フランスの政治	選	秋学期	2	3・4	大久保 泰甫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 近代フランス政治生活の起点としての大革命と第1帝制（1789—1814/15）

【講義内容】 大革命以後におけるフランスの「政治生活」の展開を概観する。その構成要素をなすのは、(1) 制度的枠組み（憲法、基本法制）とその体制下の実態、(2) 政治的動因としてのアクター（プロの政治家、活動家、一般大衆）、(3) 政治的動因としての集合的力（政治的クラブ、政党、マスコミ、出版物、デモ、ストライキ）、(4) イデオロギー、(5) 経済的条件などであり、これらを視野に入れて、フランスの政治をダイナミックに把握し、理解させる。

【講義計画】 以下の第1部の概説に3分の2程度の時間をあて、第2部については仏文テキスト（下記）を使用して、予習を課し、受講者の積極的参加を促していく。

第1部 フランス革命・ナポレオン時代（1789-1814/15）の政治生活
はじめに
第1章 立憲議会とその事業
第2章 革命の急進化と停滞（立法議会、国民公会、総裁政府）
第3章 統領政府と第1帝制——ナポレオンの時代——
第2部 歴史の中の第5共和制

【評価方法】 平常点（毎回出席をとり、「欠席過多」を適用。また、テキストの予習を重視する）、および定期試験。

【テキスト】 Olivier DUHAMEL, *Le pouvoir politique en France*, Seuil, 1993 の該当部分をプリントで配付。また、講義要綱や資料を用意する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43761	フランスの思想	選	秋学期	2	3・4	飯野 和夫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 思想の表現手段としてフランス語を用いるものを「フランスの思想」と理解し、現代にまでいたるその流れと特徴を、実際に代表的な思想家の著作にもふれながら考察する。具体的には、デカルトあたりに出発点を置き、啓蒙思想および感覚論哲学、19世紀の思想、実存主義、現代のフランス思想などを取り上げる。

【講義計画】 フランスの17、18世紀の思想史を代表するデカルト『方法序説』、コンディヤック『人間認識起源論』をまず取り上げて考察する。次いで、この流れが19世紀にどのように継承されたかを一瞥し、最後に、デカルト、コンディヤックに言及している現代フランスの思想家——たとえばM. フーコー——を取り上げて考察する。

【評価方法】 受講者には実際に読書した内容をレポートとして提出してもらう。この平常点と、学期末試験を総合して評価する。

【テキスト】 上記のものを使用するが、入手法等については別途指示する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
43766	フランスの法制	選	秋学期	2	3・4	大久保 泰甫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副 題】 民法典の成立とその国際的影響

【講義内容】 民法を中心として、大革命を起点とする近代フランス法の成立と展開の過程を跡付けると共に、今日直面する法的問題に対する取り組みを紹介する。Ⅰ（前半）では、ナポレオンの諸法典の成立と19世紀以後の近代フランス法学を取り扱い、Ⅱ（後半）では、いくつかの現代の法的課題を考察する。

【講義計画】 以下に示す第1部の部分を概説するとともに、第2部については、仏文テキスト（下記）を予習・邦訳してもらい、その上で説明を施していく。

第1部 民法典（ナポレオン法典）の成立過程と基本精神

- 1 民法典成立までの歴史的概観
- 2 民法典の基本精神をめぐって

第2部 フランス民法典の対外的影響

- 1 ナポレオンのヨーロッパ支配と民法典の「輸出」
- 2 ナポレオン没落後における「輸出」法典の運命
- 3 近代法のモデルとしてのフランス民法典の影響（ヨーロッパ、アメリカ大陸、アフリカとアジア）

【評価方法】 平常点（毎回出席をとり、「欠席過多」を適用。また、テキストの予習を重視）、および定期試験。

【テキスト】 第1部については講義要綱と資料を用意。第2部については、J.-L. HALPERIN, Le Code civil, Dalloz, 1996の該当部分をプリントして配付。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
43771	フランスの外交	選	春学期	2	3・4	大久保 泰甫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副 題】 フランス外交とヨーロッパ統合

【講義内容】 本講義は、第2次世界大戦後のフランス外交を対象として、その政策の変遷を、特にヨーロッパ統合との関連に焦点をあてつつ概説する。その際、一方で様々の国際的条件とインパクト、他方でフランスの外交理念、国益（政治的・経済的・社会的利益）、外交戦略等の諸要素の交錯と相互影響に注目しつつ、その動的様相を明らかにしようとする。

【講義計画】 総論（下記参照）の部分を総論として説明するとともに、各論部分については、仏文テキストを予習の上、訳述してもらおうという形式で進める。

総 論 1945年以後のフランス外交の基礎的条件

- 1 「伝統」
- 2 「破局」の衝撃
- 3 戦後の諸条件への適応過程

各 論 フランス外交とヨーロッパ統合の歩み

【評価方法】 平常点（毎回出席をとり、「欠席過多」を適用。また、テキストの予習を重視する）、および定期試験。

【テキスト】 B. BRUNETEAU, Histoire de l'unification européenne, A. Colin, 1996. 該当部分をプリントして配付。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
43776	フランスの社会	選	秋学期	2	3・4	浜名 優美
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 現代フランス社会の抱える諸問題を取り上げ、日仏の社会構造や文化の違いを文明論的視点から論じる。具体的には、フランスにおける移民の問題、慢性化している失業者の問題、女性の地位の問題、社会保障の問題、教育の問題などを扱う。

【講義計画】 新聞記事や著作の一部を紹介しながら、主に以下の話題について話す。聴講者自身にも調査を求めることがある。

- 1) フランス社会の階層的構造について
- 2) 「新しい金持ち」と失業者
- 3) 移民
- 4) 女性
- 5) 教育
- 6) 社会福祉

【評価方法】 出席およびレポートによる。

【テキスト】 なし。

【その他】 プリントを随時配布。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
43781	日仏交流史	選	秋学期	2	3・4	大久保 泰甫
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 G. ボワソナード（日仏法制の架け橋となったフランス人法学者）の人と業績

【講義内容】 幕末期に、フランスと徳川幕府が緊密な関係を結んだことはよく知られているが、本講義では、主として明治維新以後、法制を中心として（付随的には、軍事、技術の分野も視野に入れて）、フランスの学問・文化・技術が、わが国の近代化に果たした役割を明らかにし、且つその足跡と遺産がもっている今日的意義を考えさせることを目的とする。

【講義計画】 はじめに 「お雇い法律顧問」の光と影
 1 フランスにおけるボワソナード
 2 日本との出会い
 3 得意の時代
 4 「法典論争」とボワソナード民法典の挫折
 むすび 残された遺産

【評価方法】 平常点（毎回出席をとり、「欠席過多」を適用。授業への積極的参加を重視）、および定期試験。

【テキスト】 大久保泰甫『日本近代法の父・ボワソナード』岩波新書

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43786	文献講読	選	秋学期	2	3・4	丸岡 高弘	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 フランスの言語・文学・社会・歴史・文化・思想・政治・法制などに関わるフランス語専門文献を批判的・分析的に読む。さまざまな研究対象と研究の方法論に触れながらフランス文化全般に関する多面的な専門知識と教養を身につけ、同時にフランス語の読解能力も高める。

【講義計画】 本年度はAlbert Jacquard, *Petite philosophie à l'usage des non-philosophes*, Calmann-Lévy, 1997 を講読する。この本は辞典のような体裁で、Autrui, Biologie, Bonheur, Conscience などについてユゲット・ブラネスにインタビューを受けながら数ページでそうした問題に関してジャッカーが論じたものである。

【評価方法】 ふだんの翻訳作業と期末の筆記試験

【テキスト】 プリントで配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
43791	時事フランス語	選	春学期	2	3・4	奥田 智樹	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 フランスの政治、経済、社会問題に関する同時代的な知識を得るためにフランスの新聞、雑誌の記事を講読する。インターネットによる新聞記事配信、衛星放送によるフランス国営放送のテレビ・ニュース、有線放送によるラジオ放送番組なども利用し、フランスに関する最新の情報を学習する。

【講義計画】 未定

【評価方法】 平常点と定期試験による。

【テキスト】 プリントを配付する。

外 国 語 学 部
ドイツ学科

外国語学部

(2000生以降)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44101	ドイツの文化と社会Ⅰ	必	春学期	2	1	金子章	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 ドイツ歳時記

【講義内容】 ドイツ研究の専門分野への案内の意味を持つ講義であるから、広くドイツの民俗、文化、政治、社会を歴史的に概観しながら、対象への関心を喚起することを目的とする。その際、ドイツの文化と社会の特徴を示すような、文学作品、音楽、絵画、建築、また思想の著作を紹介する。また、それぞれの対象に対する研究法についても、少数の具体例を紹介する。

【講義計画】 ドイツの年間に営まれる祭と行事、その習俗につながる動・植物、さらに守護聖者やゲルマンの神々などを通してドイツ文化と社会の深層を探る。

【評価方法】 筆答の定期試験と提出されたレポートに基づいて評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44106	ドイツの文化と社会Ⅱ	必	秋学期	2	1	鈴木宗徳	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 マルクスとヴェーバーの思想の現代的意義

【講義内容】 ドイツ文化のうちで、世界に対し多大な影響を及ぼしたものの一つは、明らかに近代における人文・社会科学（精神科学）の成果である。特に、19世紀末から1920年代にかけてドイツに登場した哲学、思想、社会学の諸潮流は、その後の様々な現代思想を生み出す基盤となった。これらを歴史的に概観し、それぞれの学問分野で研究方法を確立してゆく過程に注目することによって、ドイツ文化への入門と、ドイツ精神科学研究の入門としたい。

【講義計画】 ドイツが生んだふたりの思想家、カール・マルクスとマックス・ヴェーバーの業績を紹介し、その現代的意義を確認する。両者は思想界を代表する「巨人」として今日まで読み継がれ、現代の人文・社会科学の多くの分野に影響を残している。ふたりの思想のうち、現代の視点から評価すべき点と批判すべき点を明らかにすることによって、現在の人文・社会科学の学問的課題が何であるかを考えたい。

1. 20世紀の社会科学の課題とはなにか——資本主義、国民国家、近代科学
2. マルクスの人間観と労働観——疎外論
3. マルクスの歴史観と社会科学——史的唯物論
4. マルクスの経済学批判
5. ヴェーバーの近代社会観——プロテスタンティズムと資本主義
6. ヴェーバーの国家観——官僚制
7. ヴェーバーの学問観——脱呪術化と価値自由

【評価方法】 学年末に、授業の理解度を問う筆記試験を行うが、授業への参加姿勢も加味して、総合的に評価する。

【テキスト】 テキストは用いない。講義中にマルクスとヴェーバーの著作を紹介するので、各自で参照してほしい。両者とも、初学者にとっては難解な著作ばかりであるが、是非、原文に挑戦してほしい。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44111 44116	ドイツ語作文Ⅰ・Ⅱ	必	春学期 秋学期	各1	1	石井 賢治	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 ドイツ語作文Ⅰ
まったくの初歩からできるだけ文法の進度にあわせて段階的に進めていく。ごくありふれた日常生活の場面も考慮にいれ、練習を行う。

ドイツ語作文Ⅱ
「ドイツ語作文Ⅰ」の数や挨拶そして基本文型を主体とした表現から、複雑な構文もまじえた練習をする。

【講義計画】 春学期： 語彙、基本文型、文法事項の習得と、それらに基づく自分の日常生活の表現練習
秋学期： 複雑な構文もまじえた練習を行う。

【評価方法】 定期試験を中心に、授業での練習結果、出席状況、質疑応答なども考慮に入れて評価する。

【テキスト】 佐藤・伊藤「スツェーネン1場面で学ぶドイツ語〈新訂版〉」三修社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44121 44126	ドイツ語講読Ⅰ・Ⅱ	必	春学期 秋学期	各1	1	横田 忍	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 ドイツ語講読Ⅰ
初歩文法の進度にあわせた簡単な文章を読み進む。平行して少しずつドイツ語圏のさまざまな情報を言語で読みとる訓練をする。

ドイツ語講読Ⅱ
文法の進度にあわせて基本的な文章を講読する。ドイツ語圏の諸情報もドイツ語知識に応じて少しずつ専門的になる。

【講義計画】 初級文法の進度に合わせた講読用テキストを読む。ドイツ語の歌やドイツ語圏の様々な情報もプリントやビデオを使って紹介する。

【評価方法】 出席・試験などの総合評価。

【テキスト】 未定

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44201	論文作成法	必	秋学期	2	2	生野 芳徳	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 レポート、論文の作成の手順を具体的に教える。論文の構成、論述の仕方、テキストと第二次文献の扱い方、注の意味とその付け方、またコンピュータで利用できるテキスト・データや文献の利用の可能性についても教える。また、一定のテーマについて、論じようとする場合の図書館の利用法についても指導する。

【講義計画】 以下の諸点を扱う：

1. 導入：論文とは何か、いかに書かれるべきか。
2. 予備的演習：短いテキストの要約と批評
3. 各自の課題を選定して小論文の作成を行う。
4. 小論文作製の過程で、①対象となるテキストの選択、②自分の理解の文章化、③第二次文献の検索と収集、④第二次文献の検討と評価、⑤自分の理解の再検討、⑥論文草稿の作製：（1）論の構成（Gliederung）の作製、（2）論の概要の文章化、（3）論述のし方、（4）註の付け方、（5）引用のし方など。
5. 「演習」での口頭発表のための Thesenpapier（論旨の要約と資料）の作製のし方
6. 論文作成のための Internet の利用
7. 論文作成のためのコンピュータ・ソフトウェアの利用（database, outline, idea processor など）

【評価方法】 レポートに基いて評価する

【テキスト】 河野哲也 『レポート・論文の書き方入門』（慶應義塾大学出版会）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44211 44216	ドイツ語作文Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各1	2	林田 雄二	
他の科目との関連						他学科 履修	不可

【講義内容】 ドイツ語作文Ⅲ
一年次で習得した基礎的な文法知識を深化し、拡大し、それを様々な状況の中で具体的に使用できる能力をつける。

ドイツ語作文Ⅳ
様々なテーマを決め、それぞれのテーマに必要な語彙を集め、実践的に文章を作っていく。

【講義計画】 一年次で習得した基礎的な文法知識を深化、拡大し、それを様々な状況の中で具体的に使用できる能力をつける。
春学期は1年次で習得した文法事項を確認しつつ、様々な文を作っていく。
秋学期は語彙力をつけることに全力をあげる。

【評価方法】 1 授業への積極的な関与。授業出席は絶対的条件。
2 小テストを重視する。
3 学期末試験は数ある小テストの一部と見なす。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44221 44226	ドイツ語講読Ⅲ・Ⅳ	必	春学期 秋学期	各1	2	林田 雄二	
他の科目との関連						他学科 履修	不可

【講義内容】 ドイツ語講読Ⅲ
作品分析の基礎となる言語分析を中心に据える。ドイツ語を無理矢理日本語に置き換えることより、文化的背景を持った言葉を、その文化に即してイメージ、理解するという事を心がける。

ドイツ語講読Ⅳ
文学テキスト以外の様々な分野のテキストを取り上げ、文体を分析し、内容を解説する。

【講義計画】 ドイツ文法の再確認と応用能力、ドイツ語の読解力の養成をめざす。
春学期はドイツ語の文章に慣れ親しみながらも、文法の復習を取り入れて語学力の向上に重点を置く。
秋学期は心理学、社会学、政治学関係のテキストも扱い、そこから読みとった内容についてもいろいろ考察する。

【評価方法】 平常点、定期試験、小テスト、出席などを考慮して総合的に評価を出す。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44231 44236	ドイツ語文法Ⅰ・Ⅱ	必	春学期 秋学期	各1	2	石井 賢治	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 ドイツ語文法Ⅰ
文法事項解説と練習を通して文法知識を確実なものとする。一年次に学習した文法の復習。

ドイツ語文法Ⅱ
文論（シンタックス）を中心として、文の構造を分析的に把握する能力を養い、特に、副文構造、不定詞句の用法、冠飾句の用法、接続法の用法などに重点をおいて、文法知識の能動的運用能力を養う。

【講義計画】 初級文法のおさらいと初級文法の枠の中では十分に扱いきれない文法事項、例えば分詞構文、冠飾句、名詞文体、機能動詞構造などを、練習問題を通して一項目につき二回～三回の時間をかけて習得していく。

【評価方法】 定期試験を中心に、授業での練習結果、質疑応答、出席状況なども考慮して評価する。

【テキスト】 山本 尤『中級のドイツ文法と文章論』同学社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44241 44246	ドイツ語コミュニケーションⅠ（A）、Ⅱ（A）	必	春学期 秋学期	各2	2	HERBERG Dieter	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 ドイツ語コミュニケーションⅠ
1年次の「基礎ドイツ語コミュニケーション」で用いたのと同じ教材の中級篇を用い、会話能力に加えて、日常ドイツ語で書かれた文章を材料として、その内容のドイツ語による要約や、自分のドイツ語による言い換えなどを経て、その内容についてのディスカッションの能力をも養うよう、討論における基本的な表現パターンなども教える。ここでの主たる目的は、ドイツ語である状況を的確に報告する能力と自分の意見を述べる能力の基礎を与えることである。

ドイツ語コミュニケーションⅡ
「ドイツ語コミュニケーションⅠ」に引き続き同じ教材を用いて、ドイツ語での能動的発言能力を高める。関係文を含む副文、接続法を用いた表現をも使って、より高度な自己表現を可能にするための訓練を行う。

【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Semesterabschlussprüfung.

【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch 1 und Arbeitsbuch 1. Ismaning 1992.
Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch 2 und Arbeitsbuch 2. Ismaning 1993.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
44242 44247	ドイツ語コミュニケーション I (B)、II (B)	必	春学期 秋学期	各2	2	STEITZ Walter A.
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 Weiterführung des Sprachkurses aus dem ersten Jahr.
Kompositions- und Konversationsübungen.

【講義内容】 ドイツ語コミュニケーション I
1年次の「基礎ドイツ語コミュニケーション」で用いたのと同じ教材の中級篇を用い、会話能力に加えて、日常ドイツ語で書かれた文章を材料として、その内容のドイツ語による要約や、自分のドイツ語による言い換えなどを経て、その内容についてのディスカッションの能力をも養うよう、討論における基本的な表現パターンなども教える。ここでの主たる目的は、ドイツ語である状況を的確に報告する能力と自分の意見を述べる能力の基礎を与えることである。

ドイツ語コミュニケーション II
「ドイツ語コミュニケーション I」に引き続き同じ教材を用いて、ドイツ語での能動的発言能力を高める。関係文を含む副文、接続法を用いた表現をも使って、より高度な自己表現を可能にするための訓練を行う。

【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Semesterabschlussprüfung.

【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch 1 und Arbeitsbuch 1. Ismaning 1992.
Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache. Kursbuch 2 und Arbeitsbuch 2. Ismaning 1993.

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
44301	演習 I	必	通年	4	3	STEITZ Walter A.
他の科目 との関連						他学科 履 修 不可

【副 題】 Sozialstruktur der Bundesrepublik Deutschland Bevölkerung

【講義内容】 それぞれの専門分野への具体的な導入の役割を果たし、その専門分野の扱う対象の特殊性を認識させ、それを扱う複数の研究方法を紹介し、研究の方法論と手法を具体的な対象に即して身につけさせることを主眼とする。

【講義計画】 5. Sozialstruktur der Bundesrepublik
5.1. Die Bevölkerungsstruktur und ihre Entwicklung
5.1.1. Bevölkerungszahl und Altersaufbau
5.1.2. Familienstruktur
5.2 Berufsstruktur - Berufs- und Arbeitsplatzmobilität
5.3 Soziale Differenzierung und Mobilität

【評価方法】 Semesterabschluss : Anfertigung eines Referats (レポート)

【テキスト】 Literatur : Staat, Wirtschaft und Gesellschaft in Deutschland.
Deutsche Fassung von Walter Steitz
Japanische Erläuterungen von Katsuhiko Naito, Yuji Hayashida,
Yoshinari Inagaki und Munenori Suzuki
(Manuskript)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44302	演習 I	必	通年	4	3	岡地 稔	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 ドイツ王国の成立

【講義計画】 成り立ドイツに関する諸問題を取りあげる。はじめに概説的な説明をし、ついで、関連する文献（ドイツ語・邦語）を見ていきたい。参加者には、まずはテキストの精読・検討を通して、問題への理解をふかめ、あわせて歴史研究の方法を学んでほしい。

【評価方法】 出席状況、発表、レポートなどの総合評価

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44303	演習 I	必	通年	4	3	石井 賢治	
他の科目との関連	言語研究の基礎（形態論）					他学科履修	不可

【副題】 ドイツ語造語論

【講義内容】 それぞれの専門分野への具体的な導入の役割を果たし、その専門分野の扱う対象の特殊性を認識させ、それを扱う複数の研究方法を紹介し、研究の方法論と手法を具体的な対象に即して身につけさせることを主眼とする。

【講義計画】 以下のような項目を順次取り上げ、その都度造語論の理解に必要な基本概念や術語を学習していく。この演習の授業の終了の方で研究方法の幾つかを見ていくことにする。

造語論の課題と造語の定義
 造語論と形態論
 造語論と統語論ならびに造語論と意味論
 造語のタイプ
 複合
 派生
 接頭辞造語
 など
 造語論の諸研究方法
 ……

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44304	演習 I	必	通年	4	3	横田 忍	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 それぞれの専門分野への具体的な導入の役割を果たし、その専門分野の扱う対象の特殊性を認識させ、それを扱う複数の研究方法を紹介し、研究の方法論と手法を具体的な対象に即して身につけさせることを主眼とする。

【講義計画】 1) さまざまな研究法
 メルヘンを使って、文献学的研究・比較文学の方法や民俗学、社会学、心理学などの研究を応用して、文学の研究法を習得する。

2) 分析・解釈と発表

小説・戯曲・抒情詩それぞれのジャンルの構造や特徴を考察し、代表的な作品を分析・解釈する。ゼミ生が中心となって研究発表する。

【評価方法】 ゼミへの貢献度、レポートなどの総合評価

【テキスト】 プリント配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44305	演習 I	必	通年	4	3	鈴木 宗徳
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 社会学史・理論社会学研究

【講義内容】 それぞれの専門分野への具体的な導入の役割を果たし、その専門分野の扱う対象の特殊性を認識させ、それを扱う複数の研究方法を紹介し、研究の方法論と手法を具体的な対象に即して身につけさせることを主眼とする。

【講義計画】 春学期は、ドイツ語圏を中心とする社会学理論史上の最重要文献を二、三点、日本語訳を用いて講読する。課題図書についてはリストを配布するが、ヴェーバー、マンハイム、エリヤス、ホルクハイマー、ハーバーマス、バーガー、ルーマン、ベックなどの著作を予定している。参加者はその内容を紹介するレジュメを作成し、報告を行わなければならない。議論の中心テーマとなるのは、「社会学は現代社会をどう把握したか」あるいは「社会学の理論はどのように構築されるべきか」という問題であろう。秋学期は、ドイツ語文献の原文での講読と、参加者各自の自由研究報告とを、隔週で交互に行う。講読用のテキストは、受講者と相談の上で決める。自由研究報告のテーマは、社会学にかかわることであればまったく自由であるが、各自が春学期のうちから定期的に教師と面談をし、研究経過を報告することが、義務づけられる。

【評価方法】 討論への参加姿勢、口頭発表の内容、学期末のレポートを総合的に評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44501 44506	ドイツ語演劇研究A・B	選	春学期 秋学期	各2	1~4	HERBERG Dieter
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 ドイツ語演劇研究A

ドイツ語の演劇作品を読み、解釈し、かつ実際に上演する。ドイツ語文学に主要なジャンルをなす演劇を、単に受動的に受け取るのではなく、それを自分で実際に演じてみることによって、作品想像の側からも体験できることが、この授業の目的である。講義は、ドイツ語の演劇についての紹介、演劇論の基礎的な知識の伝達に始まり、上演作品の選定作業、実際に上演するために原作を編集する作業、役の配分、台本の役の解釈の説明に基づいて、実際に役を自分で演じるための練習に入る。通常の授業時間の他に、とくに夏休み中には、集中的に練習するための合宿を行う。

ドイツ語演劇研究B

「ドイツ語演劇研究A」に引き続き、実際に演劇作品を上演するための練習を通じて、ドイツ語の正しい発音、イントネーション、自然な対話の能力を向上させる。同時にドイツ語の会話に伴う動作や身振りをも身につける。学期の後半で、実際に上演してその成果を示す。上演後は、ビデオなどによって、自分の演技を発音、イントネーション、動作・身振りを批判的に検討する。

【講義計画】 Lesen, Interpretieren und Aufführen eines Dramas.

Auswahl des Stücks, Kürzung des Texts, Verteilung der Rollen, Erklärung und Interpretation des Texts, dann Einübung der Rollen.

Teilnahme auch außerhalb des regulären Unterrichts ist notwendig.

【評価方法】 Mündliche Prüfung.

【テキスト】 Drama, nach Absprache mit den Teilnehmern.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44601	中級ドイツ語講読Ⅰ	選	春学期	1	2	生野 芳徳
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 基礎文法の知識を確認しながら整理・補充し、口頭および書き言葉としてのドイツ語の運用能力を養うことを目的とする。また教材は、1年次で獲得したドイツ語能力を無理なく伸ばすことを主眼として選んだが、その内容は、日本人とドイツの習慣やものの考え方の相違などについて考える契機になると思う。

【講義計画】 以下の練習に重点を置く
(1) テキストを正しく音読すること。
(2) 教科書のドイツ文の構造を正確に把握しながら、出来るだけ自然な日本語に置き換えること。
(3) 日本語に翻訳した文からもとのドイツ語文を復元してみる。

【評価方法】 授業中の練習や小テストおよび定期試験の成績に基いて評価する。

【テキスト】 未定

【その他】 未定

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44606	中級ドイツ語講読Ⅱ	選	秋学期	1	2	SZIPPL Richard
他の科目との関連						他学科履修 可

【講義内容】 ドイツ語の読解力の養成に主眼を置くが、ドイツの歴史や現代のドイツ事情に関する文章を主に扱い、ドイツ語能力と同時に、ドイツに関する知識と関心を拡大することに努める。

【講義計画】 第2次世界大戦後ドイツは東西に分割され、1990年に再び統一された。40年間余のドイツ分割のシンボルとなった「ベルリンの壁」についてのテキストを読んで、現代ドイツの歴史を考えていく。
必要に応じて、文法の補足説明、テキストの内容の補足説明をする。

【評価方法】 小テスト、期末筆記試験、出席、授業への参加姿勢などを考慮して、総合的に評価する。

【テキスト】 Sebastian Haffner著/林部圭一編 *Anmerkungen zu Hitler* 白水社
平井 正/W.Brenn著 *Geschichte der Berliner Mauer* 白水社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44701	ドイツ史A	選	春学期	2	2~4	岡地 稔
他の科目との関連						他学科履修 可

【副題】 ドイツ中世・近世史

【講義内容】 中世・近世ドイツの歴史を概説する。はじめに、フランク国王の一分国王権から出発し、中世前期においてヨーロッパの最高権威として君臨したドイツ王権=皇帝権について、その国家構造、ならびに問題点

を分析する。ついで、統一的国家権力が後退して諸侯的国家体制となる中世後期、領邦国家として迎える近世までの歴史を概観する。

- 【講義計画】
- 1 ドイツの成立
 - 2 オットー朝・ザーリア朝の帝国教会体制と叙任権闘争
 - 3 シュタウファー朝の帝国再建
 - 4 領邦君主時代
 - 5 宗教改革と宗教戦争
 - 6 領邦絶対主義——プロイセンの興隆

【評価方法】 試験、および出席状況

【テキスト】 使用せず

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44706	ドイツ史B	選	秋学期	2	2~4	SZIPPL Richard
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 政治・社会・経済の変動が激しい歴史を持っているドイツは、特に20世紀のナチス党の独裁政治や第2次大戦、敗戦後の分割を通して、ヨーロッパだけでなく、世界の歴史にも大きな影響を及ぼしたものである。

本講義では、ワイマル時代から東西統一までのドイツの歩みをたどる。それぞれに時代の特徴に焦点を合わせて、近代ドイツの成立を考察していく。主なテーマとしては、ドイツ帝国の崩壊とワイマル共和国の成立、ワイマル共和国の経済・政治・社会、ワイマル共和国の崩壊とナチス党の権力掌握、ナチス独裁下の経済・政治・社会、第2次世界大戦、第2次世界大戦後の占領と分割、東西両ドイツの成立と発展、東西両ドイツの統一などをとりあげて、近代・現代ドイツ社会についての理解を深めていく。

【講義計画】 講義では、次の順序で、ワイマル時代から東西統一までのドイツ史の主な動きを考察する。

- ①ドイツ帝国の崩壊、ワイマル共和国の成立
- ②ワイマル共和国の政治・経済体制
- ③ワイマル共和国の社会
- ④ワイマル共和国の崩壊とナチス党の権力掌握
- ⑤ナチスドイツの経済
- ⑥ナチスドイツの社会、反ナチス運動、ユダヤ人の虐殺
- ⑦ナチスドイツの外交政策と第2次世界大戦
- ⑧敗戦、占領下のドイツ、ドイツの分割
- ⑨東西ドイツの歩み、ドイツ統一

【評価方法】 学期中提出一回のレポート・期末試験・授業への参加姿勢によって総合的に評価する。

【テキスト】 木谷勤、望田幸男著「ドイツ近代史」ミネルヴァ書房

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44711 44716	ドイツ文学史A・B	選	春学期 秋学期	各2	2~4	金子章
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 ドイツ文学史A

ドイツ文学の歴史的概観を通して、文学のみならず、ドイツの歴史、政治、経済、社会への関心をも喚起するために、文学作品のそれぞれの時代におけるあり方、その役割に注目して、可能な限り作品に直接触れる機会を設けながら、ドイツ文学の流れを概観する。この講義で扱う時期は、古代ゲルマンの文学から、中世文学、啓蒙主義、ドイツ古典主義とロマン主義の時代までとする。

ドイツ文学史B

「ドイツ文学史A」と同様の意図と方法によって、写実主義、自然主義、印象主義、表現主義の文学と、ワイマル共和国時代の文学と第二次世界大戦後の文学までを扱う。

【講義計画】 作品にできるだけ直接触れる機会をもちながら、歴史のなかでドイツ文学の流れを追ってみる。

1. 近代以前の文学
2. ゲーテ時代の文学
3. ロマン派の文学
4. リアリズムの文学
5. 世紀末の文学と表現主義
6. 亡命文学
7. 第二次世界大戦後の文学

【評価方法】 筆答の定期試験と提出されたレポートに基づいて評価する。

【テキスト】 プリントを配布。
参考書『増補ドイツ文学案内』（岩波文庫）
トーマス・マン『ドイツとドイツ人』（岩波文庫）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44721	ドイツ哲学史A	選	春学期	2	2～4	加藤 泰史
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 ライプニッツからカント・フィヒテまで

【講義内容】 ドイツ哲学史A
ドイツ近代哲学の基本思想とその潮流の理解を深めるために、その前提となっているデカルト哲学およびイギリス経験論の諸思想を検討するとともに、それらを批判的に継承したカント哲学を、理論哲学・実践哲学・美学思想に即して解説する。

【講義計画】 (1) ライプニッツの『弁神論』と「オプティシズム」の問題
——「オプティシズム」をめぐるヨーロッパの哲学者たち：ライプニッツ・ルソー・ヴォルテール・カント——
(2) Ch.ヴォルフとドイツ啓蒙主義の問題
(3) 18世紀ドイツにおけるアカデミーと大学
(4) カント哲学—前批判期から『オプス・ポストゥムム』まで—
(5) カント哲学とドイツの芸術家たち
(6) フィヒテの「知識学」について

【評価方法】 講義中の聴講態度・質疑応答・筆記試験等の成績から総合的に評価する。

【その他】 参考文献

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44726	ドイツ哲学史B	選	秋学期	2	2～4	加藤 泰史
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 ドイツ観念論からハーバマスまで

【講義内容】 ドイツ哲学史B
ドイツ現代哲学の基本思想とその潮流の理解を深めるために、カント哲学の超克を目指したドイツ観念論およびドイツロマン主義の諸思想を検討するとともに、ニーチェ以降の哲学の動向を新カント派・解釈学・現象学・討議倫理学などに即して解説する。

- 【講義計画】 (1) ヘルダーリンとドイツ観念論の問題
 (2) シェリングの自然哲学
 (3) ヘーゲルの哲学——『精神の現象学』と『法・権利の哲学』——
 (4) ポスト・ヘーゲル哲学——後期シェリング・キェルケゴール・フォイエールバハ・マルクス——
 (5) ニーチェの哲学、あるいはポスト・モダンの始まり？
 (6) 新カント学派の哲学（ヴァンデルバント・リッカート・コーエンなど）・解釈学（ディルタイ）・現象学（フッサール）
 (7) ハイデガー哲学の諸問題（そして、ガダマーの哲学的解釈学について）
 (8) ハーバマスと討議倫理学の問題
 (9) ドイツの環境倫理学

【評価方法】 講義中の聴講態度・質疑応答・筆記試験等の成績から総合的に評価する

【その他】 参考文献
 『西洋哲学史』（昭和堂）、渡辺二郎『芸術の哲学』（ちくま学芸文庫）、渡辺二郎『歴史の哲学』（講談社学術文庫）、桑山敏雄『環境の哲学』（講談社学術文庫）その他

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44801	上級ドイツ語講読Ⅰ	選	春学期	1	3・4	金子 章	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 「外から見た日本語」（その一）

【講義内容】 日本語は特殊なことばであると言いたがる日本人の傾向は、西洋コンプレックスの後遺症である、と考えるデュッセルドルフ大学の言語学者クルマスさんの随筆を講読する。このテキストは、個別言語としての日本語はどのような言語なのか、言語の本質は何なのか、わかりやすく説明している。

【講義計画】 1. Japanisch ist schwer
 2. Sprache und Schrift
 3. Zweisprachige Gespräche

【評価方法】 <講読>への参加と、提出されたレポートによって評価する。

【テキスト】 「外から見た日本語」（朝日出版社） 950円〈コバン〉の紀伊国屋で購入できる。
 プリントを教室で配布。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44806	上級ドイツ語講読Ⅱ	選	秋学期	1	3・4	金子 章	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 「外から見た日本語」（その二）

【講義内容】 日本語は特殊なことばであると言いたがる日本人の傾向は、西洋コンプレックスの後遺症である、と考えるデュッセルドルフ大学の言語学者クルマスさんの随筆を講読する。このテキストは、個別言語としての日本語はどのような言語なのか、言語の本質は何なのか、わかりやすく説明している。

【講義計画】 4. Sprache und Verhelten
 5. Die Sprache der Höflichkeit
 6. Der Langen Reae Kurzer Sinn

【評価方法】 <講読>への参加と、提出されたレポートによって評価する

【テキスト】 「外から見た日本語」（朝日出版社） 950円〈コパン〉の紀伊国屋で購入できる。
 プリントを教室で配布。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44811 44816	上級ドイツ語会話Ⅰ、Ⅱ	選	春学期 秋学期	各1	3・4	HERBERG Dieter	
他の科目 との関連						他学科 履修	可

【講義内容】 上級ドイツ語会話Ⅰ
 1、2年次の「コミュニケーション」科目で築いたドイツ語による自己表現能力をさらに向上させることを目的とする。教材には、それと同一の上級篇を用いて一貫性を保ち、相当高度なドイツ語で書かれた文章に即してのディスカッションの能力を養うことを主眼とする。

上級ドイツ語会話Ⅱ

「上級ドイツ語会話Ⅰ」に引き続いて、相当高度な口頭での自己表現能力を養うことを目指す。同時に自分で原稿を作成したスピーチを発表させることなどによって、一定のテーマとまとまりのある主張をドイツ語で述べる能力を養い、またそれに基づいたドイツ語での討論によって、ディスカッションの能力の向上をも図る。その際、ドイツと日本を中心として世界のさまざまな問題に注目させ、問題意識を養うことにも努める。

【講義計画】 Fortgeschrittene Konversations- und Kompositionsübungen
 Ausbildung aller Sprachfähigkeiten (Lesen, Schreiben, Hörverstehen und Sprechen) mit Schwerpunkt auf schriftlichen Übungen.

Weiterführung des Sprachunterrichts im 1. und 2. Studienjahr.

【評価方法】 Schriftliche Zwischenprüfungen und Abschlußprüfung über den ganzen Lehrstoff.

【テキスト】 Themen neu. Lehrwerk für Deutsch als Fremdsprache 2, Kursbuch, Arbeitsbuch, Hörkassetten, Ismaning 1995.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44821	上級ドイツ語作文Ⅰ	選	春学期	1	3・4	生野 芳徳	
他の科目 との関連						他学科 履修	可

【講義内容】 2年次までに学んだドイツ語を基盤として、第一段階として、短文の和文独訳の課題によって、文法の基礎的な運用能力を確かなものにし、第二段階として、比較的短いまとまりのある模範的なドイツ語の文章（手紙、評論、論説など）を、批判的に分析することによって、ドイツ語の文章表現に慣れ、論述の仕方と表現法を学び、ドイツ語による要約と意見を書くことによって、まとまりのある文章を書く練習をする。

【講義計画】 以下のことを順次行います。

1. 第一段階として、重要な文法事項を含んだ、和文独訳の練習によって、文法知識の運用能力を確かなものにし、副文、特に関係文を含む文を自由に書くことができるようになることを目的とします。
2. 接続法を含むニュアンス表現の文の練習
3. 比較的長いまとまりのある文の和文独訳の練習。
4. 模範的なドイツ語の文章を批判的に分析して、文章の構成を学ぶ。

【評価方法】 授業の進行にあわせて課題を提出してもらいますので、それと学期試験に基づいて評価します。

【テキスト】 プリントで配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44826	上級ドイツ語作文Ⅱ	選	秋学期	1	3・4	生野 芳徳	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 ドイツ語で書かれた比較的短いまとまりのある文章を分析的に読み、その要約や、それに対する意見をドイツ語で書く練習を中心とする。同時に、日本語で書かれた論説や評論をドイツ語に翻訳する練習も行う。また、最終段階では、特定のテーマについて、ドイツ語で自由に作文する練習を行う。

【講義計画】 前期の授業の成果を踏まえて、以下のことを順次行います。
 1. まとまりのある比較的長い日本語の文章の独訳の練習
 2. ドイツ語の模範的な文章を批判的に分析して、その要約と批評をドイツ語で書く練習を通じて、ドイツ語による論述の方法を学ぶ。
 3. 特定のテーマについて自分でドイツ語の文章を書く練習。

【評価方法】 授業の進行にあわせて課題を提出してもらいますので、それと学期試験に基づいて評価します。

【テキスト】 プリントで配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44831	作品講読	選	春学期	2	3・4	生野 芳徳	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 ドイツ語の小説作品を綿密に読む作業を基礎として、小説のテキストの特性を理解させ、作品の十全な理解を図り、またテキストを通して作品が自分の中で再現される過程に注意を向けさせる。この授業の一つの目的は、比較的高度なドイツ語の読解力を養うことであり、もう一つは、文学作品とそのあり方を意識させることである。

【講義計画】 文法的に重要な点にも留意しながら、作品の構造、用語、モチーフ、テーマなどを把握してもらうようにして、テキストに即した作品解釈の練習を行います。

【評価方法】 読解の筆記試験と作品解釈のレポートに基づいて評価します。

【テキスト】 プリントで配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44836	文献講読	選	春学期	2	3・4	岡地 稔	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 歴史学の文献を講読する。歴史学の文献とはいっても、文学のジャンルに加えることができるような叙述作品もあれば、数学的な論理構造をもつ実証論文もある。しかしいずれの場合においても、すべて事実を踏まえずには成り立たない。史料をいかに把握して事実関係を組み立てるかに歴史学の文献の成否はかかっている。この点を念頭におき、精読していきたい。

【講義計画】 J. Fried, Der Weg in die Geschichte. Die Ursprünge Deutschlands bis 1024 (=Pro-pyläen Geschichte Deutschlands I), Berlin 1994の中から、オットー朝成立期の部分を読んでいく。

【評価方法】 試験、および出席状況

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44841	時事ドイツ語	選	春学期	2	3・4	鈴木 宗徳
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 ドイツの新聞を読む

【講義内容】 政治、経済、社会の領域でのドイツ語表現を学習する。最初は、それぞれの領域で用いられる語彙や慣用表現を数多く学ぶことに重点をおき、続いて、徐々に時事ドイツ語に慣れ、読み能力と聞く能力を高めることを目指す。

【講義計画】 ドイツの新聞（“Die Welt”の予定）を、インターネット上に掲載されている過去1～2年間の記事から十点ほどピックアップし、講読する。新聞報道の文章は難解なものが多いため、日頃からドイツ語圏の様々なメディアに触れておくことを心がけてほしい。大学図書館には、“Die Zeit”、“Frankfurter Allgemeine Zeitung”、“Rheinischer Merkur”などの新聞や、“Der Spiegel”、“Focus”、“Der Stern”などの週刊誌が取められている。そのほか、ほとんどのドイツの新聞・雑誌は、インターネットを通して読むことができる。また、日本の新聞や雑誌（雑誌『世界週報』や冊子『未来』など）に掲載されるドイツの記事はもちろん、NHK・BS7で平日早朝に放映されるZDFニュース（L棟2階視聴覚ライブラリーでも見られる）も、利用してほしい。

【評価方法】 学期の中間と学期末の二回、授業で講読したテキストの理解度を試すテストを行う。

【テキスト】 第一回目の授業で、テキストとなるプリントを配布する。ドイツの新聞についてさらに独習したい場合は、伊藤光彦『ドイツ語情報世界を読む』（白水社）を薦める。不明な用語がある場合は、田沢五郎『独＝日＝英 ビジネス経済法制辞典』（郁文堂）に詳しい。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44851 44856	ビジネス・経済ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	2	3・4	STEITZ Walter A.
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 Wirtschaftsdeutsch 1

【講義内容】 ビジネス・経済ドイツ語Ⅰ
ドイツ語の商用文の読解と書き方の練習を含むが、同時に経済に関するドイツ語のテキストを経済学の基礎知識を伝達しながら学ばせる。
ビジネス・経済ドイツ語Ⅱ
ドイツ語の商用文の読解と書き方の練習を含むが、同時に経済に関するドイツ語のテキストを経済学の基礎知識を伝達しながら学ばせる。専門用語に関する理解と経済学的な見方についての理解を、具体的なテキストに即して教える。

【講義計画】 Texte zur Wirtschaftsstruktur und zum Wirtschaftsgeschehen in Deutschland

【評価方法】 Semesterabschluss: Semesterabschlussexamen（定期試験）

【テキスト】 Literatur: Texte des Seminarleiters

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44861	ドイツの社会と文学	選	秋学期	2	3・4	横田 忍	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 様々な時代や歴史事件と文学の関わりを考察する。ゲルマン固有の文化・習俗とキリスト教との軋轢や融合、近代化の遅れとドイツ文学、ナチス支配下のドイツや戦後のドイツでの文学表現など。

- 【講義計画】
- 1) メルヘンや抒情詩などに投影された社会を読み解く。
 - 2) さまざまな文学ジャンルで表現された社会現象としての嬰兒殺しを追跡する。
 - 3) 20世紀におけるユダヤ人迫害や外国人労働者問題を、文学作品でもって考察する。

【評価方法】 講義への参加・貢献度、レポートなどの総合評価。

【テキスト】 プリント配布

【その他】 参考書 『赤ん坊殺しのドイツ文学』 横田正著 三修社

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44866	ドイツの思想と文化	選	秋学期	2	3・4	加藤 博子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 ドイツの思想と文化の中で最も重要な位置を占める18世紀および19世紀の諸潮流についての一般的知識をえるために、イギリス・フランスとの影響作用史を顧慮しながら、レッシング・メンデルスゾーンなどの啓蒙主義、ヘルダー・ハーマンらの反啓蒙主義そしてカント・シラー・ゲーテおよびドイツ観念論・ドイツロマン主義さらにはモーツァルト・ベートーベンなどの音楽に関して、特にそれらの人間論・認識論・芸術論・自然論・社会論・歴史論などに即して解説する。

【講義計画】 ドイツは都市別や州別ごとにそれぞれの魅力と、そして深刻な問題を有している。ライン河畔やメルヘン街道など、観光地として安定している旧西ドイツ地域。富裕でセンスの良いドイツ人たちの、住んでみたい憧れの町ミュンヘン。アメリカ、北欧など海外との交流の中で独立して成り立っていた港町ハンブルク。一方、旧東ドイツの保養地で、それ以前は貴族の避暑地であったバルト海のリュエゲン島。そして旧東の中で、統一後に最も早く町全体の改装がなされ、西からの観光客を呼び込んだワイマール。ライプチヒやドレスデンといった分断と統一の影響を最も強く受けてしまった地域。そして今も変貌しつつあるベルリン。これらの地域の歴史と現代の姿から、また各地出身の作家や思想家の作品に触れながら、ドイツの思想と文化の特性を考えてみる。

【評価方法】 レポートに基づいて評価する。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44871	ドイツの経済	選	春学期	2	3・4	櫻井 健吾	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 第1編 近代経済史研究への序説

- 第1章 産業革命の人類史的位 置：
C. M. チボラの「人類史における二つの革命」論を中心として
- 第2章 概念上の諸問題：
(1) 経済成長、(2) 工業化、(3) 資本主義、(4) 産業革命
- 第3章 産業革命の研究史：悲観論と楽観論
- 第4章 W. W. ロストウの「離陸」論：
『経済成長の諸段階』(1960年、増補版1971年)
- 第5章 A. ガーシェンクロンの「比較後進性」の仮説：
『歴史的展望の中での比較後進性』(1962年)
- 第2編 人工と工業化
- 第1章 前工業化時代の人口(800-1800年)：
「マルサスの悪循環」の世界
- 第2章 工業化時代の人口(1750-1914年)：
「マルサスの悪循環」の克服と「人口爆発」
- 第3章 ドイツの過剰人口、窮乏化問題、工業化(1800-1850年)：
過渡期の人口と経済
- 第4章 ドイツの工業化、国内人口移動、都市化(1850-1914年)：
「水平的・垂直的流動性」
- 第5章 人口転換(1800-1980年)：
「農業的人口様式」から「工業的人口様式」へ

【評価方法】 定期試験

【テキスト】 プリント、「近代ドイツの人口と経済」

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
44876	ドイツの政治と社会	選	春学期	2	3・4	鈴木 宗徳
他の科目との関連						他学科履修 可

【副 題】 現代ドイツの政治的・社会的課題

【講義内容】 講義の前半では、現代ドイツの政治制度と、ドイツが直面する現在の政治的・社会的課題について概観する。後半では、20世紀ドイツの主たる政治思想および社会理論を紹介し、ドイツにおいて、政治と社会の領域で、どのような問題提起がなされ、どのような理論的処方箋が与えられてきたのかを検討する。

【講義計画】 上記のテーマのうち、本年度は、ドイツが直面している現在の政治的・社会的課題について考察する。まず、敗戦・東西分断の時代から1990年のドイツ統一にいたるまでの戦後史をふりかえる。次いで、現代の国際情勢を説明しつつ、様々な角度から現代ドイツの政治・経済・社会問題について検討し、日本の置かれている状況とも比較する。

1. 戦後復興と冷戦のはじまり
2. 東西分断とベルリンの悲劇
3. 東西ドイツの統一
4. 外国人労働者問題と移民問題
5. 新しいナショナリズムと東西の「心の壁」
6. 失業問題と構造改革
7. 海外派兵問題とEU統合

【評価方法】 学期末に一回レポートを提出してもらおうが、授業への参加姿勢なども加味して、総合的に評価する。

【テキスト】 テキストは用いない。レポート作成の際に参考にしてほしい本のリストを、授業中に紹介する。授業では、ビデオ教材を多く使用する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44881	ドイツの法制	選	秋学期	2	3・4	上口 裕
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 ドイツ法における主要な制度および論点を取り上げるが、日本法との異同を明らかにすることに重点をおく。明治維新によって西欧法を継受した日本法は、それ以前の日本法史と断絶があるが、ドイツ法はこのような断絶をもたないで、ドイツ法史についても可能なかぎり言及したい。

【講義計画】 受講者は法律について知識を持たないという前提で講義を進めるので、まず、日本法を例にとり、法体系の説明をする。
ドイツ法については、憲法および刑法法を中心に講義をする。できるだけドイツ語の法文を副教材に使用する予定である。

【評価方法】 ドイツ語文献を読んだうえで作成するレポートを提出してもらう予定である。

【テキスト】 村上・マルチュケ『ドイツ法入門』（改訂第3版、1997年）（有信堂）
『岩波コンパクト六法』（平成14年度版）（岩波書店）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44886	ドイツの外交	選	春学期	2	3・4	SZIPPL Richard
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 ドイツの国際的地位は19世紀後半の国家統一から現在まできわめて複雑なものである。ドイツは特に20世紀の二つの世界大戦においてヨーロッパだけでなく、世界の動きにも大きな影響を及ぼしてきたし、第2次世界大戦後の分割と再統一も大きな国際問題であった。

本講義では、19世紀後半のドイツ統一から20世紀の再統一現在までのドイツの国家統一とドイツ帝国の成立の背景にあった外交問題、帝政時代の国際関係（ビスマルクの同盟・協商体制、ヴェルヘルムの時代の「世界政策」、第1次世界大戦、ワイマル時代の外交政策、ヒトラーの外交政策、第2次世界大戦、戦後のドイツ外交政策、ドイツ統一問題と外交政策などを取り上げ、ドイツの国際的地位についての理解を深めていく。

【講義計画】 本講義では、次の項目の順に19世紀後半のドイツ統一から20世紀の再統一までのドイツの国家統一の背景にあった外交問題や国際関係を考察していく。

- ① ドイツ帝国の成立
- ② 帝政ドイツの外交（ビスマルクの外交、ヴェルヘルム2世時代の「世界政策」）
- ③ 第1次世界大戦前の国際関係
- ④ ワイマル時代の外交
- ⑤ ヒトラーの外交と第2次世界大戦
- ⑥ 戦後のドイツ外交
- ⑦ 国際問題としての1990年のドイツ統一

【評価方法】 定期試験の結果、出席、参加姿勢を合わせて評価する。

【テキスト】 テキストや参考文献については、講義中に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44891	ドイツ文学研究	選	秋学期	2	3・4	林田 雄二
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 演劇作品は、それが書かれた時代に生きた人々の抱えた様々の問題を直接法によって表現する手段である。それ故、作品解釈に当たって、作品内在的な分析のみならず、それぞれの時代、社会と作品の関係にも重点が置かれる。

【講義計画】 Heinrich von Kleists (1777-1811) とその時代
 -Kleistの初期の演劇作品-
 Heinrich von Kleistsは、1811年ベルリン郊外ヴァンゼー湖畔で人妻とピストル自殺を図るまでの34年の生涯の中で8つの演劇作品と幾つかの珠玉の短論小説を残している。講義では、初期の演劇作品を対象を絞って、作品が書かれた時代的な背景にも目をやりながら、作品の意味を解き明かしていきたい。

1. 19世紀初頭までのドイツ演劇史概観
2. 18世紀終わりから19世紀初頭のドイツの演劇状況
3. 18世紀終わりから19世紀初頭の社会状況
4. H. von Kleistsの生涯
5. 悲劇 “Die Familie Schroffenstein”
6. 喜劇 “Der zerbrochene Krug”

【評価方法】 1. 講義への積極的な参加態度
 2. レポート

【テキスト】 クライストの作品の翻訳を読んでおくこと。
 (図書館参考図書)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
44896	ドイツ語学研究	選	秋学期	2	3・4	成田 克史
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 ドイツ語音声学

【講義内容】 音声学および音韻論の基本的概念、方法論を学びながら、ドイツ語の規範的発音の体系を記述した上で、日常的なドイツ語の発音における音声のさまざまな実現形態について考察し、ドイツ語の音声的側面に関する認識を深める。

【講義計画】 初めに音声学史を概観し、音声学の研究対象、研究方法を解説する。その上で、母音、子音、音結合、抑揚の各項について、日本語と比較対照しながら、ドイツ語音声の特徴を探る。
 母音と子音の項ではそれぞれの一覧表を作成し、母音については特に張り弛み、長短の問題を、また子音については特に狭め形成と解放の仕方、硬音と軟音の問題を扱う。音結合の項では音節の構造と音の配列の仕方を調べるとともに、連続する音が互いに与える影響について考察する。抑揚の項では発話における声の高さと音の長さを観察し、強勢ならびに発話意図の表出の形態に関する理解を深める。

【評価方法】 毎回の授業への取り組みと筆記試験の結果から成績判定を行う。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44901	ドイツ史研究	選	春学期	2	3・4	岡地 稔	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 ロートリンゲンの成立

【講義内容】 中世ドイツ国家の権力構造をさぐるさい、有効な方法のひとつに国王選挙の分析がある。そこへは様々な勢力が自己の命運を賭しかかってくることから、その時々々の権力のありようが映し出され、また政治の諸問題がそこに収斂しているからである。こうしたドイツ国王選挙を具体的な事例から考察する。

【講義計画】 890年・ツヴェンティボルトのロートリンゲン王への国王選挙問題を手がかりにして、その王国（王権）の権力構造、地域（ロートリンゲン）の成立、などの問題を考察していきたい。

【評価方法】 試験、および出席状況

【テキスト】 使用せず。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44906	ドイツ経済研究	選	秋学期	2	3・4	大谷津 晴夫	
他の科目との関連	経済学部経済学科開講科目51675「外書講読（歴史と思想）A」					他学科履修	可

【副題】 外国人労働者と社会保障

【講義内容】 外国人労働者とその家族への社会保障適用問題を、EUおよびその加盟国ドイツの事例に基づいて検討する。
テキストとしては、上記テーマに関連した英語で書かれた資料を予定しているが、具体的には未定である。

【評価方法】 出席、予習、定期試験を総合的に評価しておこなう。

【テキスト】 テキストは当方で用意して受講者に配付する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
44911	ドイツ政治研究	選	秋学期	2	3・4	鈴木 宗徳	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 ハーバーマスの政治思想

【講義内容】 ドイツ近代社会が辿った歴史的に特殊な運命が、どのような政治風土を生み出したのかを、政治思想の諸学説を検討しつつ、明らかにする。特にマックス・ウェーバーやカール・シュミットの権力政治のモデルがどのような背景のもとで生まれたのか、そして、戦後の政治思想がナチズムの負の遺産とどのように対決してきたのかを、検討する。さらに、現在の政治学の現代的課題との取り組みについても、触れることにする。

【講義計画】 上記のテーマのうち、本年度は、戦後ドイツの政治思想および社会学をリードしつづけてきた、ユルゲン・ハーバーマスの著作と、その時代背景について考察する。ハーバーマスは72歳を迎えた現在も、左派知識人の代表としてドイツの論壇で活躍している。彼が体制批判をおこなう際の理論的枠組みと、彼が巻き起こした論争をたどることによって、現代ドイツの思想状況を概観する。

1. フランクフルト学派第一世代の「批判理論」
2. 「市民的公共性」と、社会国家段階におけるその崩壊
3. テクノクラシー批判と実証主義批判
4. 「システムによる生活世界の植民地化」
5. コミュニケーション理論と討議倫理学
6. 新自由主義の台頭と歴史家論争

【評価方法】 学期末に一回レポートを提出してもらおうが、授業への参加姿勢なども加味して、総合的に評価する。

【テキスト】 テキストはとくに用いないが、授業で中心的にとりあげる『公共性の構造転換』（ハーバーマス著、細谷貞雄・山田正行訳、未来社）を読むことを、強く勧める。そのほかに、フランクフルト学派第一世代（アドルノ、ホルクハイマー、フロム、マルクーゼ）の著作やハーバーマスの論争相手（ポパー、ルーマン、フーコー）の著作、ハーバーマスが依拠する同時代の思想家（アーペル、オッフエ、ホネット）の著作などを授業中に紹介する。

外国語学部

アジア学科

外国語学部

(2000生以降)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45101	アジア入門演習A 1	必	春学期	2	1	蔡 毅	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副 題】 中国文化概説

【講義内容】 一年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により学習意欲を高めるとともに、学生が各々専門領域にアプローチしていくための導入として、予備的知識の教授や基本文献の紹介などを行う。Aにおいては主としてアジアの文学・文化を扱う。

【講義計画】 日中比較文化の視点から中国文化全般を紹介し、その独自の性格をみていく。受講生に奥の深い中国学に興味をもたせるとともに、中国文化に関する初歩的な知識をも身につけられるよう指導する。基本的な参考文献、辞書等の扱い方も説明する。

【評価方法】 授業への取組み方及びレポートによる。

【テキスト】 開講時に指示する

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45102	アジア入門演習A 2	必	春学期	2	1	森山 幹弘	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副 題】 東南アジア島嶼部の文化

【講義内容】 一年次の学生にたいして、小人数のゼミ形式により学習意欲を高めるとともに、学生が各々専門領域にアプローチしていくための導入として、予備的知識の教授や基本文献の紹介などを行う。Aにおいては主としてアジアの文学・文化を扱う。

【講義計画】 東南アジア（特に島嶼部）の基礎的知識を身につけることを目的とする。また受講者の個々の関心に注意を払いながら、文献の探し方、レポートの書き方など大学での勉強のツールについて指導する。東南アジア地域の共通性と多様性という相反する方向を示唆しながら、東南アジア研究において何ができるのか、その可能性を探るヒントを提供したい。そのために、ビデオやカセットなどを使って研究対象をビジュアルに、また身近なものとして感じてもらう工夫もしていく。全体を3分割する。(1) 東南アジア世界の成り立ち (2) シンガポール、マレーシア、フィリピン、ブルネイについて (3) インドネシアについて。講義形式の授業ではなく双方向の授業となるように運営していく。そのために何回かのレポートの提出とディスカッションを重視して授業を進めていく。

【評価方法】 授業に対する積極的な参加態度とレポートによって評価する。

【テキスト】 文献リストを配布し、各人がレポート作成に必要なテキストを選ぶように指導する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45103	アジア入門演習A 3	必	春学期	2	1	松戸 庸子	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 一年次の学生にたいして、小人数のゼミ形式により学習意欲を高めるとともに、学生が各々専門領域にアプローチしていくための導入として、予備的知識の教授や基本文献の紹介などを行う。Aにおいては主としてアジアの文学・文化を扱う。

- 【講義計画】 対象領域は中国で、3つの時代にわけ、以下のような観点から理解を深めていく。そのさい、ビデオや地図など視聴覚器具を使って具体的な把握を促したい。
1. 革命前夜から60年代まで（なぜ社会主義革命が起こったか、日中関係も含む）
 2. 文化大革命（文革とは何か、社会主義とは何か）
 3. 改革開放の時代（社会主義市場経済とは何か）
- また、社会や歴史を理解するための文献やその収集方法を講じると同時に、関連論文の輪読や討論も行なう。
- 【評価方法】 平常点（討論への参加度・貢献度）と学期末レポート試験による
- 【テキスト】 適宜プリントを配布する

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
45104	アジア入門演習 A 4	必	春学期	2	1	宮 沢 千 尋	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副 題】 東南アジア入門
- 【講義内容】 一年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により学習意欲を高めるとともに、学生が各々専門領域にアプローチしていくための導入として、予備的知識の教授や基本文献の紹介などを行う。Aにおいては主としてアジアの文学・文化を扱う。
- 【講義計画】 受講者の東南アジアにたいする知識や大学での勉強の仕方についての情報は必ずしも十分ではないと考えられるので、こうした点を考慮にいれて、ゼミをおこなう。具体的にはテキストの輪読、発表者の関心に沿った発表などを考えているが、受講者の数や受講者の関心も参考にすすめたい。また、東南アジア理解を助けるようなビデオ、映画鑑賞も行う予定である。
1. テキストの輪読（宮沢による「模範演技」のあと、受講者に担当を割り振って、それぞれ発表してもらおう）。
 2. 図書館での文献検索講習
 3. 東南アジア映画、ビデオの鑑賞
 4. 東南アジア料理に挑戦！
- 【評価方法】 ゼミへの参加・貢献の態度、発表の出来・不出来、学期末レポートの内容などによって成績評価する
- 【テキスト】 上智大学アジア文化研究所編『入門東南アジア研究』めこん刊（2575円）
- 【そ の 他】 東南アジアが日本人にとって、いかにややくしく、しかし、いかにおもしろいかを感じてもらいたい。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
45106	アジア入門演習 B 1	必	秋学期	2	1	原 不 二 夫	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副 題】 東南アジアにおける国民国家の形成と日本
- 【講義内容】 一年次の学生にたいして、小人数のゼミ形式により、学習意欲を高めるとともに、学生が各々専門領域にアプローチしていくための導入として、予備的知識の教授や基本文献の紹介などを行う。Bにおいては主としてアジアの社会・経済を扱う。
- 【講義計画】 各受講者の発表をもとに、討論を行なう。最も基本的な資料は共通とするが、それ以外の資料は各自が教員と協議のうえ独自に探索・収集する。

【評価方法】 レポート

【テキスト】 必要な教材を適宜提示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45107	アジア入門演習 B 2	必	秋学期	2	1	蔡 毅
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 中国文化概説

【講義内容】 一年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により、学習意欲を高めるとともに、学生が各々専門領域にアプローチしていくための導入として、予備的知識の教授や基本文献の紹介などを行う。Bにおいては主としてアジアの社会・経済を扱う。

【講義計画】 日中比較文化の視点から中国文化全般を紹介し、その独自の性格をみていく。受講生に奥の深い中国学に興味をもたせるとともに、中国文化に関する初歩的な知識をも身につけられるよう指導する。基本的な参考文献、辞書等の扱い方も説明する。

【評価方法】 授業への取組み方及びレポートによる。

【テキスト】 開講時に掲示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45108	アジア入門演習 B 3	必	秋学期	2	1	小林 寧子
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 一年次の学生にたいして、小人数のゼミ形式により学習意欲を高めるとともに、学生が各々専門領域にアプローチしていくための導入として、予備的知識の教授や基本文献の紹介などを行う。Bにおいては主としてアジアの社会・経済を扱う。

【講義計画】 アジアを学ぶための基本的な訓練を積むことを目的とする。できるだけ身近な問題を材料にして、日本とアジアのつながりの深さを考えることから始める。また、新聞、雑誌等から記事を拾い、今アジアで何が起きているかを知ること努めつつ、アジアを理解するための方法を学ぶ。

【評価方法】 授業への取組み方とレポートによって総合的に評価する。

【テキスト】 開講時に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45109	アジア入門演習 B 4	必	秋学期	2	1	森山 幹弘
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 東南アジア島嶼部の社会

【講義内容】 一年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により、学習意欲を高めるとともに、学生が各々専門領域にアプローチしていくための導入として、予備的知識の教授や基本文献の紹介などを行う。Bにおいては主としてアジアの社会・経済を扱う。

【講義計画】 東南アジア（特に島嶼部）の基礎的知識を身につけることを目的とする。また受講者の個々の関心に注意を払いながら、文献の探し方、レポートの書き方など大学での勉強のツールについて指導する。東南アジア地域の共通性と多様性という相反する方向を示唆しながら、東南アジア研究において何ができるのか、その可能性を探るヒントを提供したい。まず最初に、東南アジア世界の成り立ちについて何回か講義を行い、次に教科書を参加者が順番にレジメを作成して丁寧に読んでいく。できるだけ双方向の授業となるように工夫をこらしていく。

【評価方法】 授業に対する積極的な参加態度とレポートによって評価する。

【テキスト】 学期初めに指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45111 45112	中国語Ⅰ発音・聴力1, 2	必	春学期	各1	1	蔡毅 張静萱	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 中国語を学習していく上で、とりわけコミュニケーション能力を養成する上で重要な発音及び聞き取りを徹底して練習し、基礎固めをはかる。Ⅰにおいては、発音記号であるピンインの修得からはじめて、単語や簡単な日常用語を材料として、音の面から中国語への初歩的なアプローチを行なう。

【評価方法】 小テストを含む平常点および定期試験による。

【テキスト】 未定

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45116 45117	中国語Ⅱ発音・聴力1, 2	必	秋学期	各1	1	張静萱 蔡毅	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 中国語を学習していく上で、とりわけコミュニケーション能力を養成する上で重要な発音及び聞き取りを徹底して練習し、基礎固めをはかる。Ⅱにおいては、Ⅰの成果を発展させてさらに難度を高めた訓練を行なう。具体的には短文の暗唱や聞き取り、文章の朗読や聞き取りによる内容把握等の訓練を課す。

【評価方法】 小テストを含む平常点および定期試験による。

【その他】 未定

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45201 45202 45206 45207	中国語Ⅰ・Ⅱ読解	必	春学期 秋学期	各1	2	中王裕史 王培紅	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 中国語のさまざまな形式の文章を精読して、正確な読解力を養成する。Ⅰでは、中国の地理状況や中国人の生活を内容とする、構造の比較的単純な文章を材料として、読解の初歩的な練習をするとともに、中国に関する知識の修得をもはかる。Ⅱでは、中国人の生活習慣や思考方法を内容とする、構造の比較的複雑な文章を材料として、読解力のいっそうの向上をはかるとともに、中国人にたいする理解を深める。

【評価方法】 訳文の提出と原文の音読を課して平常点とし、これに定期試験の成績をあわせて評価する。

【テキスト】 未定

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45211 45212 45216 45217	INDONESIAN COMMUNICATION I. II インドネシア語 I・II コミュニケーション	必	春学期 秋学期	各1	2	DAROS Henri RISAGARNIWA Y.Y.
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 インドネシア語 I コミュニケーション
インドネシア語 I・II 会話・作文で学んだ発音を確認しながら、スムーズな日常会話ができる能力を養う。視聴覚教材を有効に利用し、聴く力と表現する力を鍛えていく。同時に、表現の幅が広がるように語彙を増やすことにも力点をおく。視聴覚資料も活用して学生の意欲を刺激する。

インドネシア語 II コミュニケーション
自分のいたいことがインドネシア語で表現できるようになることが目標である。語彙の充実と、基本文型やパターン化された表現の反復学習の成果をもとに、一段上の水準の会話ができるように指導する。そのために、作文指導にいつそう多くの時間をさく。

【講義計画】 This course builds on the skills practiced in Indonesian Conversation and Composition (*Percakapan dan Mengarang dalam Bahasa Indonesia*) in the previous course. It is designed to give the students practice in developing their ability to communicate in Indonesian in all four skills: speaking, writing, listening and reading. The emphasis in the course is on real communication, actually using Indonesian in the classroom to accomplish various tasks and assignments. The goal of instruction is to provide the students with practical skills necessary to enable them to continue their own study outside the classroom on an individual basis.

1. This course will emphasize communication through interactive activities.
2. Students work both with textbook and materials provided by the teacher.
3. Various materials and methods will be employed for the purpose of helping the students develop the confidence necessary to actually use the Indonesian proficiency they have acquired.

【評価方法】 Since this is a skill-based course, active attendance and participation at every class is required and expected. Student's preparation and participation will be evaluated, whereas exercises and homework are required. The teacher will give tests based upon texts, handouts and other materials. Students are given grades based upon the amount of work done and progress made, and upon regular or periodic examination.

【その他】 アジア学科生は必修。なお、春学期と秋学期で担当者が交替する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45301	演習 I	必	通年	4	3	原 不二夫
他の科目との関連						他学科履修 不可

【副題】 マレーシア現代史——「複合民族社会」の形成・発展と今日の課題

【講義内容】 3年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により、各人の選択した専門領域について相応の知識や参考文献の扱い方などを修得させる。そうした過程で、自ら課題を見いだし、探究していく姿勢を養成する。

【講義計画】 20世紀前半のマレー民族主義運動、華僑の「愛国」運動を概観した後、戦後どのようにして現在の「マレーシア」(1963年結成)の原型が形成されたか、先住民でありかつ多数派であるマレー人の優先的な地位はどのようにして確保されたか、少数派でありかつ「渡来者」である華人、インド人はどのように対応したか、両者はどのように話し合いをしたか、などについて見る。種族間の対立が頂点に達した1969年の「5・13事件」の背景を探るとともに、その後打ち出された「新経済政策」(1970~90年。日本では「プミブトラ政策」とも呼ばれる)の目的、実施状況、結果を分析し、マレー人の地位向上と自らの力量への自信がも

たらしめたその後の種族間融和政策を検討する。最後に、今や東南アジアで最も長く20年以上に亘って権力の座にあるマハティール首相とその政策について、称賛、批判の双方を紹介しながら考える。

【評価方法】 期末レポート

【テキスト】 随時紹介

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45302	演習 I	必	通年	4	3	蔡 毅	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 東アジア漢字文化圏の諸問題

【講義内容】 3年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により、各人の選択した専門領域について相応の知識や参考文献の扱い方などを修得させる。そうした過程で、自ら課題を見だし、探究していく姿勢を養成する。

【講義計画】 前期は明、清時代の短編白話小説を受講生と一緒に読み、当時の社会状況、中国人の考え方を認識しようという予定。後期は漢詩について講ずるので、漢詩作品の読解が当然中心となる。受講生の意見と要望に応じて、随時に内容を調整することも可能である。

演習の方法については、1、指定作品を各自が現代日本語に訳し、現代中国語音によるテキスト朗読の出来も加味する。2、指定参考資料を読んで、まず口頭で発表し、それを整理してレポートを提出する。

【評価方法】 授業中の発表とレポートによる。

【テキスト】 プリントを配る。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45303	演習 I	必	通年	4	3	松戸 庸子	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副題】 中国社会研究－現代を中心として

【講義内容】 3年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により、各人の選択した専門領域について相応の知識や参考文献の扱い方などを修得させる。そうした過程で、自ら課題を見だし、探究していく姿勢を養成する。

【講義計画】 年間を通じて、中国社会事情に関する中文資料の輪読と討論。これと並行して、前期は中国社会について論じた論文を幅広く輪読する。これらを通じて、各自が暫定的な研究テーマを決め、夏休みに関連資料の収集を行い、後期は、順次発表し、みんなで議論をし、最後にはレポートにまとめる。

【評価方法】 平常点（中文運用能力向上と討論への参加度・貢献度）およびレポート試験

【テキスト】 適宜配布

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45304	演習Ⅰ	必	通年	4	3	周 錦樟	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副 題】 漢字学一日中現代漢字の比較

【講義内容】 3年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により、各人の選択した専門領域について相応の知識や参考文献の扱い方などを修得させる。そうした過程で、自ら課題を見だし、探究していく姿勢を養成する。

【講義計画】 この演習では、現代中国語および現代日本語で使われている漢字の字形・発音・意味について、二つの言葉を比較考察します。次にそれをもとに外国語教育への利用や文字政策への提言などを考えたいと思います。四年次の演習とのつながりを視野に入れて、三年次はまず『現代漢字学通論』を輪読し、漢字という文字体系の言語における位置や漢字文化圏の漢字使用現状、日本と中国の文字政策、現代漢字の字形・字音・字義・字量、そして漢字教育の実態を把握したいと思います。授業は教員による講義ではなく、学生が中心となる形式を取ります。指定された範囲のテキストを事前に読み、授業中にその内容について報告・討論を行います。学年末には、各自の興味のある研究課題を決めてもらう予定です。

【評価方法】 出席率、授業中の態度、報告と討論への積極性、レポートを総合的に判断します。

【テキスト】 楊潤陸（2000）『現代漢字学通論』長城出版社

【その他】 原文のテキストを使用するため、予習するにはかなりの時間が要求されます。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45305	演習Ⅰ	必	通年	4	3	中 裕史	
他の科目との関連	中国現代文学研究および中国近現代史研究の履習が望ましい					他学科履修	不可

【副 題】 中国20世紀の文芸

【講義内容】 3年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により、各人の選択した専門領域について相応の知識や参考文献の扱い方などを修得させる。そうした過程で、自ら課題を見だし、探究していく姿勢を養成する。

【講義計画】 テキストを全員で読み、20世紀文学の流れをおさえるとともに、担当者の指定する特定の作品について受講生が各自報告をする。

【評価方法】 授業時の口頭での報告とそれをまとめたレポートによって評価する。

【テキスト】 『原典で読む 図説中国20世紀文学 解説と資料』（中国文芸研究会編 白帝社 1995年初版）

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45306	演習Ⅰ	必	通年	4	3	森山 幹弘	
他の科目との関連	「インドネシア文学研究」を併せて履修のこと					他学科履修	不可

【副 題】 インドネシアという言語とその文学の成立を考える

【講義内容】 3年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により、各人の選択した専門領域について相応の知識や参考文献の扱い方などを修得させる。そうした過程で、自ら課題を見だし、探究していく姿勢を養成する。〈春学期〉インドネシア語という言語は新しい言語である。またそれは自然発生的に生まれたものではない。

まずその元となっているマレー語について歴史的な考察を行っていき、どのような社会、政治的な背景の中で、どのような過程を経てインドネシアという言語が誕生したのかを考えていく。
 〈秋学期〉インドネシア文学というものは決して自明のものではない。まずもってインドネシアには多くの言語が存在し、それぞれ文学を有しているからである。次に、その言語の成立が政治的なものであったことを考えると、インドネシア文学自体の政治性ということを無視するわけにはいかない。ゼミでは「インドネシア文学」（＝インドネシア語で書かれる文学）の成立について考察していく。

- 【講義計画】 輪読という形をとる。毎回、担当者がレジメを作成し、それに基づいて全員がテキストの理解を深め、議論を行っていく。テキストは主として英語もしくはインドネシア語の論文を使う予定。各学期の最後に授業中の議論を基にして、それぞれの関心に引きつけてレポートを作成する。
- 【評価方法】 分担されたテキストのレジメ作成およびその発表、そして期末レポートを元に総合的に評価を行う。
- 【テキスト】 各学期の初めに指定する。参考文献『東南アジア文学への招待』段々社、2001年、『現代インドネシア文学への招待』めこん、1993年。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45307	演習 I	選	通年	4	3	小林 寧子	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【副題】 アジアの市民社会を考える
- 【講義内容】 3年次の学生にたいして、少人数のゼミ形式により、各人の選択した専門領域について相応の知識や参考文献の扱い方などを修得させる。そうした過程で、自ら課題を見だし、探究していく姿勢を養成する。アジアの民主化、人権、開発のひずみのは正などの問題を考える。現在アジアの人々が直面している問題に関心を向け、それがどのような歴史的背景のもとにできたのかを探る。
- 【講義計画】 春学期は現代アジア社会・政治に関する書物を読み、秋学期は歴史を中心に学ぶ。
- 【評価方法】 授業で発表するレジメ、討論への積極性、レポートなどで総合的に評価。
- 【テキスト】 開講時に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45501 45506	インドネシア語 I・II 読解	選	春学期 秋学期	各1	2	森山 幹弘	
他の科目との関連						他学科履修	不可

- 【講義内容】 **インドネシア語 I 読解**
 基礎文法の修得を前提とし、基礎的な読解力を養う。具体的には文法事項に留意した精読を旨とし、比較的易しいテキストをじっくり読むなかで、初級文法を確認しつつ、語法を学ぶ。また新たに中級レベルの文法事項をその過程で解説する。
- インドネシア語 II 読解**
 II は I にひきつづき、文法事項を正確におさえた丁寧な読解の指導を行う。テキストは語学学習用の平易なものをはじめとして種類の違うものを用い、多様な文章にふれるなかで、語彙のパラエティも増やしていく。中級レベルの文法と語法の学習の完成をめざす。
- 【講義計画】 基本的に予習中心の授業準備を期待する。
- 【評価方法】 平常点と定期試験の両方で評価する。
- 【テキスト】 学期の初めに指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45511	中国圏の文化と社会	選	春学期	2	2	松戸 庸子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 東アジアの発展を支える主体的要因は、労働者の熟練形成、層の厚い企業家の蓄積と家族・同族的な企業経営、および有能な人材から構成される官僚制度の存在であるとされる。その背後には、勤労・貯蓄を重んじる文化的伝統、強靱な家族主義の残存、教育の重視と業績主義的社会原理などの文化的基盤が形成されているが、こうした社会発展についての文化論を展開する。

【講義計画】 中国文化圏の日本、台湾、韓国について、中国も産業大国の仲間入りをした。「アジア成長論」と「アジア停滞論」をふまえて、離陸や産業大国化を達成した一因としてのマンパワーの源泉を、家族制度、教育制度と儒教文化に探ってみたい。

【評価方法】 平常点（発言回数や小テスト結果）と学期末筆答試験による

【テキスト】 適宜プリントを配布する

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45516	イスラム圏の文化と社会	選	秋学期	2	2	小林 寧子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 イスラムは中東の宗教と考えられているが、全世界のイスラム教徒の半分はアジアに居住している。この講義では、イスラム文化はアジアにどのように伝播し、定着したのかを歴史的に辿りながら、地域的多様性を概観する。その中で、イスラムに関する基本知識を積み、イスラム社会理解への足掛かりを掴むことを目的とする。

【講義計画】 講義は次の順序で展開する。
 1) 日本とイスラムとの出会いー日本人のイスラム認識ー
 2) イスラムとは何かーイスラム教徒の日常生活ー
 3) イスラム世界の発展ーグローバル化と地方化ー
 4) 現代のイスラム
 a イスラム復興 b 多元主義への模索 c イスラム・フェミニズムの台頭

講義ではビデオやスライドを用いてイスラム世界への理解を深める。

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 特に使用しないが、次の三冊を参考文献としてあげる。
 東長 靖、『イスラームのとらえ方』（世界史リブレット15）、山川出版、1996年。
 小杉 泰、『イスラームとは何か』、講談社現代新書、1994年。
 中村廣治郎、『イスラーム教入門』、岩波新書、1998年。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45601	中国語Ⅲ読解	選	春学期	1	3	林 明 鮮	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【講義内容】 中国語のさまざまな形式の文章を精読して、精確な読解力を養成する。Ⅲでは、主に書簡文を材料にし

て読解力の向上をはかるとともに、あわせて書簡の形式を知り、書簡を作成する練習も行う。

【評価方法】 試験と出席によって評価する。

【テキスト】 開講時に指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
45606	中国語Ⅳ読解	選	秋学期	1	3	林 明 鮮
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 中国語のさまざまな形式の文章を精読して、精確な読解力を養成する。Ⅳでは、現代中国の動向を内容とする文章を材料として、読解力の向上をはかるとともに、現代中国の諸状況についての知識を増す。

【評価方法】 試験と出席によって評価する。

【テキスト】 開講時に指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
45611	中国語時事会話Ⅰ	選	春学期	1	3	蔡 毅
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 現代中国の政治、社会、経済など諸状況をふまえた会話文の練習を反復して行い、話す力・聞く力の定着を狙うとともに、現代中国の諸問題についての理解を深める。Ⅰでは、現代用語の修得に重点をおく。また、視聴覚資料も活用して学生の意欲を刺激する。

【評価方法】 授業中の発表と筆記試験による。

【テキスト】 未定。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
45616	中国語時事会話Ⅱ	選	秋学期	1	3	蔡 毅
他の科目との関連						他学科履修 不可

【講義内容】 現代中国の政治、社会、経済など諸状況をふまえた会話文の練習を反復して行い、話す力・聞く力の定着を狙うとともに、現代中国の諸問題についての理解を深める。Ⅱでは、Ⅰの成果の上にならって討論の形式を採用し、運用能力を高める。その際、ビデオカメラ等を利用して欠点の修正等に役立てる。

【評価方法】 授業中の発表と筆記試験による。

【テキスト】 未定。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
45621	インドネシア語Ⅲ読解	選	春学期	1	3	森山 幹弘
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 細部にこだわらず、まとまりのある文章の大意をつかむ訓練を行い、読みのコツと勘を養う。読む分量をこれまでの2倍程度に増やして集中的な学習を促す。またイディオムにも留意して、語彙力をさらに増強する。

【講義計画】 まとまった分量のテキストを読むことと併せて、様々な文体のテキストを読む。予習中心の授業準備が求められる。

【評価方法】 平常点と定期試験の両方で評価する。

【テキスト】 授業中に配付する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
45626	インドネシア語Ⅳ読解	選	秋学期	1	3	森山 幹弘
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 新聞、雑誌など一般のインドネシア人が読むレベルの文章を読む。時事的な文章とあわせて短編小説なども教材として、読むことの喜びと楽しみも味わってもらいたい。総合的な解釈力と高度な読解力を養い、インドネシア語学習の一応の完成をめざす。

【講義計画】 読みを確かなものにするために、各人がきちんとした訳文をつくってきて、それをもとに授業を進めていく。

【評価方法】 平常点とレポート（訳文）によって評価する。

【テキスト】 授業中に配付する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
45631	CONTEMPORARY INDONESIAN CONVERSATION I インドネシア語時事会話 I	選	春学期	1	3	DAROS Henri
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 インドネシア語の新聞、雑誌からイディオムや表現パターンを学習し、自分のものとして使えるようにする。内容的には、現代の政治・社会・経済などの諸問題に関する会話の練習を行い、話す力、聴く力の定着を狙うとともに、現代インドネシアについての理解を深める。

【講義計画】 While this is primarily a conversation course, all four language skills (*mendengar*/listening, *berbicara*/speaking, *membaca*/reading and *menulis*/writing) will be integrated throughout the semester. Classes will be conducted using a mixture of short presentation about daily events (especially in Indonesian life) followed by conversation, reading and discussing news taken from the Indonesian newspapers and creative exercises in suggesting and giving reasons for various topics. The class will be participatory with special emphasis placed on student involvement. Various materials and methods will be employed. All teacher-student and student-student interaction for the course will be in *Bahasa Indonesia*.

【評価方法】 1. Regular attendance
2. Class participation

3. Assignments
4. Examination.

【テキスト】 Relevant materials to be provided.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45636	CONTEMPORARY INDONESIAN CONVERSATION II インドネシア語時事会話 II	選	秋学期	1	3	DAROS Henri
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 IIはIをステップとして、話す力、聴く力のさらなるレベルアップをめざす。新聞や雑誌を材料として、現代の政治・社会・経済などの諸問題に関する実践的な会話の訓練を行い、現代インドネシアについて、自分の考えで表現できるようにしていく。

【講義計画】 While this is primarily a conversation course, all four language skills (*mendengar*/listening, *berbicara*/speaking, *membaca*/reading and *menulis*/writing) will be integrated throughout the semester. Classes will be conducted using a mixture of short presentation about daily events (especially in Indonesian life) followed by conversation, reading and discussing news taken from the Indonesian newspapers. In this semester special attention will also be paid to compositional skills supported by creative exercises in suggesting and giving reasons for various topics related to Indonesian society. The class will be participatory with special emphasis placed on student involvement. Various materials and methods will be employed. All teacher-student and student-student interaction for the course will be in *Bahasa Indonesia*.

【評価方法】

1. Regular attendance
2. Class participation
3. Assignments
4. Examination.

【テキスト】 Relevant materials to be provided.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45701	中国語上級会話	選	秋学期	1	3・4	陳 志平
他の科目との関連						他学科履修不可

【講義内容】 相手側に伝達したい意図に従って、さまざまな表現を具体的に練習する。たとえば、請求や同意、反論、心配慰めといった事柄を、それぞれの場面において如何に表現し、伝達するかという高度な水準の会話練習を行う。

【講義計画】 学生を主役とした訓練中心の授業形態で、上記の「講義内容」を踏まえた会話学習を通して、「伝達の技術としての中国語」によるコミュニケーション能力の向上を狙いとする。その為に、以下の項目に力点を置いて授業を進めて行く。

- 1、言葉が生まれるプロセスを理解する：状況（場面）→概念→表現
- 2、実用を旨とし、様々な場面を想定した会話を学び、各場面によって必要とされる基本文型と語句を習得すると共に、身近な話題を表現できるようにする。
- 3、学生主体の大量の「聞く・話す」練習
- 4、中国の社会や文化に対する理解を深める。
- 5、「理解→定着→応用→復習」という基本となる手順を踏んで、効率のよい学習指導を図る。

【評価方法】 出席及び試験により評価するが、日頃の努力を重視する。

【テキスト】 開講時に指示する

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45706	ADVANCED INDONESIAN CONVERSATION インドネシア語上級会話	選	秋学期	1	3・4	DAROS Henri
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 それまでの学習過程で培われた会話力のレベルアップをはかる。少人数クラスでのディスカッション形式の授業のなかで、現代インドネシアの政治・社会・経済・文化の知識を背景として、インドネシア語で議論できる実践的な能力の養成を目指す。

【講義計画】 While the underlying objective of the course is to develop students' communication skills in becoming active speakers in *Bahasa Indonesia*, listening, reading and writing skills still will be sharpened to help develop fluency and students' confidence in Indonesian conversation. Students will improve Indonesian speaking ability through discussions centered on a broad range of topics while learning and using new words, expressions, idioms and phrases. Lectures will give the students the opportunity to speak about their ideas and to have the chance to challenge every aspect of Indonesian conversation. Relevant methods will be applied and various materials will be employed, such as news and articles taken from Indonesian language publications. Since this course is student-centered, the students share with the teacher the responsibility for selecting topics of discussions or conversations. All aspects of this course will be in *Bahasa Indonesia*.

【評価方法】

1. Regular attendance
2. Class participation
3. Assignments
4. Examination

【テキスト】 Relevant materials to be provided.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45711	韓国・朝鮮の言語と文化 I	選	春学期	2	3・4	文 嬉 眞
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 ハングルの「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深める。

【講義内容】 韓国・朝鮮の言語は、基本的な語順や主語の省略・敬語の存在・助詞の使用など、日本語と類似点が多く読み書きは容易であるが、音節構造が異なるため会話の習熟には時間がかかる。授業では、韓国・朝鮮の文化を紹介しつつ、主として発音の習得に力を入れる。

本講義は韓国・朝鮮語で日常会話ができることを最終目標とする。

講義はテキストに沿って進めていくが、文字と発音の基礎をしっかりと学ぶ必要があるため、多少の時間を当てることになる。特に、日常的な生活の様々な場面を中心にした会話表現であるため、その文章を暗記することによって、すぐに使用できる「生きた韓国・朝鮮語」になると思われる。

そして、韓国・朝鮮の歴史、社会、文化などの理解を深めるために、できる限りの映像資料を用いて学習を行なう。その中で、韓国・朝鮮文化を背景にしたビデオ・映画などを観覧し、みんなで討論する。

【講義計画】

- ① ハングルの歴史および子音と母音
- ② ハングルの文字と発音
- ③ 基本的な日常会話
- ④ ハングルと韓国・朝鮮の歴史および文化（映像史料）
(受講学生の知的要求に基づいて授業計画は流動的になる可能性もある。)

【評価方法】

- ① 出席、受講態度、小テストで50%を評価する。
- ② 学期末試験で残る50%を評価する。

【テキスト】 未定

【その他】 受講初期である4月、5月の学習が、その後の進歩と楽しさのほとんど全てを決定する。この期間はハンゲル授業に全力を注ぐ必要がある。さらに、授業への積極的な参加意欲も重要である。(韓国・朝鮮語検定試験を目的とする学生は申し出ること)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45716	韓国・朝鮮の言語と文化Ⅱ	選	秋学期	2	3・4	文 嬉眞	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 ハンゲルの「読む、書く、聞く、話す」の4機能を総合的に学習し、それを通じて朝鮮半島の歴史、社会、文化、思想について理解を深める。

【講義内容】 日本と韓国・朝鮮はともに儒教文化圏・漢字文化圏に属しながら、その行動様式は微妙な点において異なる。授業では、ビデオ等も適宜利用しながら、韓国・朝鮮の文化に対する認識を深めるとともに、初歩的な文法事項並びに日常会話で用いられる表現の習得をも目指す。

本講義は韓国・朝鮮語で日常会話ができることを最終目標とする。

講義はテキストに沿って進めていくが、文字と発音の基礎をしっかりと学ぶ必要があるため、多少の時間を当てることになる。特に、日常的な生活の様々な場面を中心にした会話表現であるため、その文章を暗記することによって、すぐに使用できる「生きた韓国・朝鮮語」になると思われる。

そして、韓国・朝鮮の歴史、社会、文化などの理解を深めるために、できる限りの映像資料を用いて学習を行なう。その中で、韓国・朝鮮文化を背景にしたビデオ・映画などを観覧し、みんなで討論する。

【講義計画】

- ① 基本的な日常会話
- ② 韓国・朝鮮文化と生活
- ③ 応用的な日常会話
- ④ 韓国・朝鮮文化と現代社会(映像史料)

(受講学生の知的要求に基づいて授業計画は流動的になる可能性もある。)

【評価方法】

- ① 出席、受講態度、小テストで50%を評価する。
- ② 学期末試験で残る50%を評価する。

【テキスト】 未定

【その他】 韓国・朝鮮の言語と文化Ⅰにおける成果の上にたち、授業への積極的な参加意欲が重要である。(韓国・朝鮮語検定試験を目的とする学生は申し出ること)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45721	タイの言語と文化Ⅰ	選	春学期	2	3・4	加藤久美子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 タイ語(タイ語標準語)の発音や初歩的な文法知識を身につけるとともに、タイ族の文化を理解することを目的として授業を行う。タイ語は、文字の読み方、書き方から始めて簡単な日常表現まで学習する。タイ族の文化については、ビデオなども適宜用いながら紹介していきたい。

【講義計画】 最初の数回で、タイ語の発音・声調・文字について学習する。その後、会話文を中心としたタイ語のさまざまな表現を見ていく。それによって、タイ語の基本文型を徐々に身につけられるようにしたい。また、タイ語の学習と並行して、各授業時間のうち十五分から十分ほどを、タイ族およびタイ国の歴史・文化を紹介する時間にあてる。

【評価方法】 授業への取り組み方(出席、熱心さ)と試験の結果によって、総合的に評価する。

【テキスト】 水野潔/鈴木玲子『エクスプレス タイ語』(あるいは『CDエクスプレス タイ語』)2000年、白水社
他の教材は、授業中に必要に応じて配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45726	タイの言語と文化Ⅱ	選	秋学期	2	3・4	加藤久美子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 タイ語（タイ語標準語）の運用能力を身につけるとともに、タイ族の文化に対する理解を深めることを目的として授業を行う。タイ語は、前記科目Ⅰ修了程度のタイ語の知識をもつ者を対象として、語彙を増やしながら会話表現の幅を拡げていく。タイ族の文化については、ビデオ等を用いてさらに詳しく解説する。

【講義計画】 タイ語のさまざまな表現の学習を続けることによって、タイ語の運用能力を高めていく。同時に、その時の知識に応じたタイ語の作文を課し、書く能力の向上も図りたい。
前期科目Ⅰと同じく、各授業時間のうち十五分から三十分ほどは、タイ族およびタイ国の歴史・文化について解説し、タイ語運用能力に見合った知識を身につけることを目標としたい。

【評価方法】 授業への取り組み方（出席、熱心さ）、課題作文、試験の結果によって、総合的に評価する。

【テキスト】 水野潔／鈴木玲子『エクスプレス タイ語』（あるいは『CDエクスプレス タイ語』）2000年、白水社
他の教材は、授業中に必要に応じて配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45731	中国語学研究	選	春学期	2	3・4	周 錦 樟	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 一般に中国語学というとき、そのカバーする領域は非常に広い。本講では、それらの領域のうちで、音韻、文字、表記、語彙を中心に、特に同じ漢字文化圏である日本語と深い関係のある漢字の字形、字音、字義について、日中の差異を比較しながら学んでいく。

【講義計画】 この授業では、現代中国語の発音、文字、語彙、語法についての基礎知識を身につけてもらいます。予定としては、序論、語音概説、単音、声調、音節、漢字、語彙、語法概説、品詞、文の成分、単文、複文の順序で講義していきます。なお、授業は、講義のみならず、日本語や他言語との異同についても頻繁に討論する予定です。

【評価方法】 出席率、授業中の態度、試験を総合的に判断します。

【テキスト】 張徳実（1999）『現代漢語』首都師範大学出版社

【その他】 原文のテキストを使用するため、予習するにはかなりの時間が要求されます。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45736	中国古典文学研究	選	春学期	2	3・4	蔡 毅	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副 題】 日中漢詩比較研究

【講義内容】 日中漢詩比較論として、日本漢詩は中国古典詩をいかに受容し、変容してきたのか、両国の共通点と相違点はどのようなものであるか、「漢字文化圏」においてどのような位置づけがなされるべきか、等について検討する。日本漢詩の中国への「逆輸入」にもふれ、日中文化交流史の一側面を究明したい。

- 【講義計画】 次の通りを行う予定：
1、中国古典詩概説。2、日本漢詩概説。3、日中漢詩交流史概説。4、日中漢詩作品比較。5、日中漢詩理論比較。6、重要典籍紹介。
- 【評価方法】 出席状況とレポートによる。
- 【テキスト】 プリントを配る。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45741	中国現代文学研究	選	春学期	2	3・4	中 裕史	
他の科目との関連	中国近現代史研究の履習が望ましい。					他学科履修	可

- 【講義内容】 中国現代文学の代表的な小説作品を複数とりあげて、その時代的背景、社会的背景や材料、主題、人物形象などを、綿密に検証して、作品と作家に肉薄し現代文学への理解を深める。また現代文学をより身近に感じられるよう、映画等の映像資料も積極的に活用して、主題や効果の面における小説作品との相違にも言及する。
- 【講義計画】 日本留学経験をもつ作家たちに注目する。まず、これらの作家の現代文学史における位置を確認し、つぎに魯迅・郭沫若・郁達夫・田漢など個々の作家とその作品について、2～3回かけて各々検討する。
- 【評価方法】 授業時に適宜課す簡論、および期末のレポートによって評価する。
- 【テキスト】 プリント配布

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45746	中国古代史研究	選	春学期	2	3・4	江村 治樹	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副 題】 秦漢古代帝国の形成

【講義内容】 春秋戦国時代は、中国史上において、まれに見る大きな社会変動が起こった時代とされている。そのような変動の中から、後の中国の歴史を規定することになる秦漢帝国が成立してくるが、その成立過程について、社会の基盤となった都市の視点から、文献資料だけでなく、考古資料にも目を配りながら考察する。

- 【講義計画】
- 1 秦漢帝国論争
 - 1) 民間集団への注目
 - 2) 共同体への注目
 - 3) 地域性への注目
 - 2 戦国時代における都市の発達
 - 1) 都市発達に関する二つの見方
 - 2) 都市発達の地域的片寄り
 - 3) 都市の制度的特質
 - 4) 都市住民の性格
 - 3 秦漢帝国の特質と都市支配
 - 1) 秦帝国の都市支配
 - 2) 秦末の都市反乱
 - 3) 漢帝国の都市支配と国家の性格

【評価方法】 筆記試験。ただし、出欠も加味する。

【テキスト】 なし。

【その他】 参考資料としてプリントを配布。また参考書として『岩波講座 世界歴史3－中華の形成と東方世界－』（1998、岩波書店）を推薦する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45751	中国近現代史研究	選	秋学期	2	3・4	砂山 幸雄
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 思想史から見た中国の近代化とナショナリズム

【講義内容】 20世紀前半の中国の政治変動を貫く重要な動因の一つであるナショナリズムを軸として、各政治勢力、知識人集団によるその内容の異同、時期による変化、社会変動との関連を論じる。特に南京国民政府樹立の過程、および抗日戦争期における国民党、共産党両政権の政治権力としての特質の比較等を通じて、中国ナショナリズムの歴史的な意義と、その後を引き継がれた課題について考える。

【講義計画】 近現代中国のダイナミクスの一つは、新しい思想が改革や革命の運動を突き動かし、また運動の挫折や発展がさらに新しい思想を生み出すというところにある。この講義では清末洋務派から毛沢東まで、さまざまな改革や革命の担い手たちの言説と活動を、思想史研究の新しい成果をふまえて読み直し、今日のアジア・中国が抱えている問題との関連を考えてみたい。授業では以下のような人物群を中心にその周辺人物も含めて論じていく。

(1)清末改良派の思想（嚴復・康有為・梁啓超） (2)革命派の思想（章炳麟・孫文） (3)民国初期アナキズム（師復） (4)五四運動期の伝統批判（陳独秀・李大釗・胡適・梁漱溟） (5)毛沢東の思想形成過程 (6)蔣介石およびその他の国民党指導者たち

【評価方法】 原則として学期末のレポートにより評価する。授業の展開により、別途小テストないし小レポートを課すことがある。

【テキスト】 佐藤慎一編『近代中国の思索者たち』大修館書店、1998年。
※このほかの資料はプリントして講義の際に配布する。

【その他】 半期だけの授業なので、中国近現代史の大きな流れは以下のような概説書を読むことで補ってほしい。中国近現代史全般に関しては、やや古いが小島晋治・丸山松幸『中国近現代史』（岩波新書〔黄336〕、1986年）を最良の概説書として薦める。近代史では並木頼寿・井上裕正『世界の歴史19 中華帝国の危機』（中央公論社、1997年）が新しい研究成果を取り込んでバランスよく概説している。中華民国期については横山宏章『中華民国』（中公新書〔1394〕、1997年）の個性的な分析がおもしろい。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45756	インドネシア文学研究	選	春学期	2	3・4	森山 幹弘
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 近代以降のインドネシア文学の研究を行なう。文学の生成に関わる言語、読者、出版、国家など文学をめぐる営為について考察を行ない、他方で文学作品それ自体を分析していく。具体的には特定の作品（群）を選び、講義とゼミ形式を組み合わせた授業を行なう。

【講義計画】 まず最初にインドネシア語文学の概論および文学史を講義する。次に特定の時代を選び出し、その時代の代表的ないくつかの作品をテキストとして読んでいく。

【評価方法】 平常点とレポートで評価する。

【テキスト】 宇戸清治・川口健一編『東南アジア文学への招待』段々社、2001年。
インドネシア語のテキストは授業中に配付する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45761	タイ文化研究	選	春学期	2	3・4	森部 一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副 題】 仏教・政治体制・交易

【講義内容】 僧院に対する贈与による功德を特徴とするシャムの上座仏教の伝統的なスタイルが、スコタイ朝からアユタヤ王朝へと社会が変化する中で、どのように形成されてきたかを特に政治体制のあり方や交易との関連で説明する。またそれが政治体制や交易に与えた影響についても考える。

【講義計画】

1. はじめに
2. タイの文化の内部における交易と支配
3. 支配の内部における地位と権力
4. 地位と交易：業績を重視する社会とそうでない社会
5. シャム文化の内部におけるスコタイ対アユタヤ
6. 仏教と交易
7. まとめ

【評価方法】 定期試験・出席などから総合的に評価する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45766	インドネシア文化研究	選	秋学期	2	3・4	吉田 竹也	
他の科目との関連	地域の文化と歴史（東南アジア島嶼部）					他学科履修	可

【講義内容】 主に文化人類学の研究成果を用いながら、インドネシア諸地域の人びとの生活習慣、宗教、伝統文化の具体的特徴やその歴史の変容過程、周辺諸民族との相互交渉などについて検討する作業を積み重ねて、インドネシア地域の文化の多様性と類似性を理解しようとする。

【講義計画】

- 1) 序論 反インドネシア文化研究
- 2) インドネシア民族論
- 3) 民族文化の比較(1)－慣習法研究
- 4) 〃 〃 (2)－民族学的研究領域
- 5) 宗教文化の諸相
- 6) 政治と権力
- 7) 結論

以上のトピックを予定している。

【評価方法】 出欠、レポート、試験などを総合的に評価する。

【テキスト】 適宜資料を配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
45771	ベトナム文化研究	選	秋学期	2	3・4	宮沢 千尋	
他の科目との関連	ベトナム社会研究と併せて履修することが望ましい					他学科履修	可

【講義内容】 ベトナムにとって近代との出会いは、フランスによる植民地化であった。この危機に従来の支配イデオロギーであった儒教は対応できず、20世紀初頭から「忠君」と「愛国」の分離、「国民」概念の創出、フランス文明への同化、独立と社会改革を視野にいれた社会主義思想など、様々な思想が生まれた。これらを

検証しつつ、民間における儒・仏・道のシンクレティズムにも触れる。

【講義計画】

1. ベトナムの生態的特殊性（東南アジアの「辺境」）
2. ベトナムの歴史的特殊性（東南アジアの王権と脱中国化のための「中国化」、南進）
3. ベトナム・ベトナム族の基層文化。その一。仏教
4. ベトナム・ベトナム族の基層文化。その二。道教
5. ベトナム・ベトナム族の基層文化。その三。儒教
6. ベトナム語の世界
7. ベトナム前近代史概観
8. ベトナム近代思想史（西欧の衝撃。「鎖国」か「開国」か）
9. 開明的知識人の登場（「忠君」と「愛国」の分離。ファン・ボイ・チャウ、ファン・チャウ・チン）
10. 親仏・改良主義者の登場（グエン・ヴァン・ヴィン、ファム・クイン）
11. ベトナム近代文学
12. ドイモイ以降の「民族の伝統」への回帰（文化・民間信仰の状況）
13. ベトナム映画鑑賞

【評価方法】

未定 レポートか試験による（受講者数によって対応したい）

【テキスト】

教科書ではないが、参考書として
 桜井由躬雄編『もっと知りたいベトナム 第一版』、同第二版（弘文堂）
 坪井善明編『アジア生活読本 ヴェトナム』河出書房新社
 桜井由躬雄・桃木至朗編『ベトナムの事典』

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45776	中国社会科学	選	秋学期	2	3・4	松戸 庸子
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】

市場経済原理を導入した改革時代の中国が直面する社会問題（物価上昇、官僚汚職、治安低下、宗族復活など）を紹介しながら、計画と市場の併存、官僚制、行政の粗放性、階層分解、都市と農村格差など、現代中国社会の理解のための主要な理論や枠組み分析の理解につなげていく。

【講義計画】

中国人研究者やジャーナリストが書いた論文や記事から具体的な社会問題を拾いあげ、それを理解するために、日本人の若手の社会学者による中国社会分析の手法を紹介していく。

【評価方法】

平常点（講義への参加度・貢献度）と期末筆記試験（受講生が少ない場合はレポートに変更）

【テキスト】

佐々木衛等編『社会学研究シリーズ18 地域研究入門(1)中国社会研究の理論と技法』文化書房博文社、1999年

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45781	中国経済研究	選	秋学期	2	3・4	塚本 隆敏
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】

国有企業改革に伴う諸問題が主となる。国有企業改革が何故実施され、どんな諸問題を発生させているかなど、ヒト・モノ・カネに対する市場経済の管理システムを対象とする。

【講義内容】

新中国誕生後、中国の経済システムは前半30年間計画经济管理システムであったが、後半20余年は改革開放政策導入で、市場経済管理システムに転換した。特に、農村での生産請負制、また郷鎮企業などの実態分析を対象にする。そして、工業部門での国有企業改革、とりわけリストラ問題など、さらに都市市民の生活実態を紹介し、そして市場経済への転換にとって、金融改革は焦眉の問題でもあり、それらの諸問題を講義する予定である。

【講義計画】

全体の流れは毛沢東時代の30年間と鄧小平時代の20年間を分けて論ずる。ただ、毛時代はその特徴を若

干論ずるが、主として鄧時代のここ20年余の経済政策、つまり改革解放時代を中心に論ずる。この20年余は日中経済関係でいえば、基本的に貿易額は順調に推移しており、その結果、今や中国は「世界の生産基地」ともいわれまでになっている。そして、農産物とはいえ、セーフガードが中国に対して発動された。こうした中国経済の躍進が、何故可能になったかを、ここ20年余の改革開放政策から論ずる。

【評価方法】 月1回、新聞の記事に関する感想文を提出する。そして定期テストで評価する（ただ、出席は重視する）。

【テキスト】 塚本隆敏著『中国市場経済への転換』（税務経済協会）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45786	イスラム社会研究	選	夏期前半	2	3・4	小林 寧子
他の科目との関連	イスラム圏の文化と社会					他学科履修可

【副題】 東南アジアで展開するイスラーム

【講義内容】 現代のイスラム社会の動態を、特に日本と関係の深い東南アジアに焦点を絞って考える。近年顕著な「イスラム復興」が政治、経済、社会、文化面で具体的にどのような形で現れているのかを確かめ、その背景についても分析する。

【講義計画】 前半は歴史、後半は現代政治に中心をおきます。
 1) ヒカヤット、スジャラー、シルシラーの世界——改宗伝説
 2) シャリーアとタレカット
 3) 聖地で学ぶ“ジャーワ”（東南アジアのムスリム）
 4) 植民地支配とイスラーム
 5) イスラーム改革運動
 6) 民族運動とイスラーム
 7) 日本軍と東南アジアのムスリム
 8) 国民国家の中のイスラーム
 9) 婚姻法の中のイスラーム法
 10) 政治とイスラーム
 11) 多元主義を模索するイスラーム

【評価方法】 筆記試験

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
45791	インドネシア社会研究	選	秋学期	2	3・4	桃木 厚子
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 本講義は以下の内容からなる。(1)インドネシア共和国の政治経済概況 (2)インドネシア社会・生活文化の概説 (3)インドネシア通史 (4)インドネシア社会史の研究動向 (5)国民文化と地方文化の関わり (6)ジャカルタ社会概説 (7)代表的な地方社会と文化の概説 (8)インドネシアの社会と文化に関する研究動向の概説 (9)代表的な研究文献の内容紹介

【講義計画】 毎回インドネシアの社会にかんする具体的なテーマをひとつ取り上げ、基礎的知識を講じたあとで、これまでの研究にみられるアプローチの仕方、分析方法について説明を加える。テーマとして、「[インドネシア]という名称の成立を受容」、「水田と焼畑」、「食文化からみたインドネシアの多様性」、「ポルトガル・オランダ植民地文化の遺産」などを取り上げる予定であるが、学期後半のテーマのいくつかについては受講者の希望を取り入れた。

【評価方法】 平常点4割、レポート6割とする。

【テキスト】 教科書は使用しない。参考文献は授業中に提示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45796	ベトナム社会研究	選	春学期	2	3・4	宮沢 千尋	
他の科目との関連	ベトナム文化研究と併せて履修することが望ましい					他学科履修	可

【講義内容】 ベトナムのドミナント・グループであるベト（キン）族社会を特徴づける、家族、親族、むらなど様々なレベルで構成されるコーポレートな集団が、どのように形成され、都市や国家にどのような影響を与えているか等、ベトナム人社会の組織原理を中心に講義する。また、地方差やエスニシティーによる差についても触れる。

- 【講義計画】
1. ベトナムの生態的特殊性（東南アジアの「辺境」）
 2. ベトナムの歴史的特殊性。その一。（東南アジア的王権と脱中国化のための「中国化」）
 3. ベトナムの歴史的特殊性。その二。（「南進の歴史」）
 4. ベトナム・ベト族の基層文化。（儒教・仏教・道教・祖先崇拜・アニミズムの混交）
 5. むら社会的行動様式（ベトナム社会論・むらの自立化）
 6. ベトナムの歴史的特殊性。その三。（南北分争）
 7. ベトナムの歴史的特殊性その四。（植民地支配とそれに対する抵抗）
 8. ベトナム戦争（民族解放闘争とイデオロギー対決。20世紀の象徴）
 9. 「社会主義のベトナム」から「ベトナムの社会主義」へ。（ドイモイ政策以降）
 10. 現在のベトナム社会
 11. ベトナム映画鑑賞
 12. 近代日本との関係（東遊運動の挫折と「仏印進駐」、「仏印処理」、ベトミン日本人兵）
 13. 現代ベトナムのエスニシティー（多様な民族構成）

【評価方法】 未定 レポートか試験による（受講者数によって対応したい）

【テキスト】 教科書ではないが、参考書として
 桜井由躬雄編『もっと知りたいベトナム 第一版』、同第二版（弘文堂）
 坪井善明編『アジア生活読本 ヴェトナム』（河出書房新社）
 桜井由躬雄・桃木至朗編『ベトナムの事典』

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
45801	フィリピン社会研究	選	秋学期	2	3・4	赤嶺 淳	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 フィリピンという国は、3つの国による400年近い植民地支配の結果形成された。したがってこの国は、人工的な国境線によって形作られ、その社会は多様性にみちている。このような社会を理解しようとするとき、私たちに求められるのは複眼的で柔軟な視点、そして歴史的な視点である。この講義では、東南アジアで唯一の圧倒的なキリスト教社会であると同時に南部にはイスラム社会も共存するこの国の宗教のありよう、多様なエスニシティー、重層的なメスティーソ文化、そして著しい経済的社会格差の問題を考える。

【講義計画】 フィリピンの民族と言語
 フィリピンの生態資源と経済開発
 フィリピンの民衆文化と物質文化

以上3つのトピックを中心に、フィリピン社会の現在を地球的視野、東南アジア地域的視野にたって考えることとする。焦点は現在におくものの、現在を理解するには、フィリピン諸島の歴史についておさえる必要がある。フィリピン社会を近隣の諸社会とのつながりのなかでとらえるとともに、史的連続のつながりでもとらえたい。

【評価方法】 レポート（50点）と各種試験（50点）

【テキスト】 特になし。参考書、資料は別途指示。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
45816	東アジア外交研究	選	春学期	2	3・4	ZAGORSKY Alexei
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 20世紀の東アジア地域における国際関係の環境変化はめまぐるしい。中華人民共和国の成立、朝鮮戦争、中ソ対立、日中国交正常化、ロシアをはじめとする独立国家共同体の成立など、一連の重大な歴史的事件によって、この地域の国際関係は変容を余儀なくされ、今なお新たな秩序の構築を模索している。本講では、対米関係をも視野にいれつつ、東アジア諸国の外交政策を検討する。

【講義計画】

1. ポスト冷戦の東アジアにおける大国（米・露・中）の力関係の変遷
2. 戦略的協力の中露関係の意味
3. 東アジアに対する中国の政策
4. 冷戦後の日米安保条約
5. 現在日露関係
6. 日中関係の展開
7. 東アジアの多国的協力～現状と新しいアイデア
8. 朝韓対話と大国の役割
9. インドシナ問題解決～カンボディアにおける国連PKO
10. 東南アジアの新しい紛争～東チモール問題
11. テロ対策と東アジアの諸問題

【評価方法】 ペーパー又はテスト